14.3
507

第二十三回
帝國議會

貴族院事務局報告

第二十三回
帝國議會

貴族院事務局報告

明治
40 11 4
内交

B2
3
01

例言

一本書ハ明治三十九年三月二十九日即チ第二十二回帝國議會閉會式ノ翌日ヨリ同四十年三月二十八日即チ第二十三回帝國議會閉會式ニ至ルマテノ事項ヲ類別纂輯ス

一議案ノ速記錄ニ記載シタルモノハ本書各項ノ下ニ速記錄ノ號數ヲ記シテ參照ニ便ス其ノ速記錄ニ記載セサルモノ其ノ他議事ニ關スル報告書竝本院ト政府又ハ衆議院トノ間ニ於ケル議事ニ關スル往復書類ハ總テ本院ノ編纂ニ係ル速記錄附錄中ニ輯錄セルヲ以テ就テ參照スヘシ

第二十三回帝國議會貴族院事務局報告

目次

第一章　召集及成立　一頁
第二章　開會式及閉會式　十四頁
　第一節　開會式　十四頁
　第二節　閉會式　十八頁
第三章　議員、委員、國務大臣及政府委員　二十頁
　第一節　議員席次　二十頁
　第二節　議員異動　二十三頁
　　第一　死亡及吊辭　二十三頁
　　第二　辭職　二十四頁
　　第三　補闕選擧　三十頁
　　第四　新任　三十四頁
　　第五　就職　三十五頁

第三節　全院委員長　四十頁
第四節　常任委員　四十一頁
第五節　國務大臣及政府委員　五十二頁
第四章　議事　六十頁
第一節　法律案　六十頁
第一　政府提出案　六十頁
第二　衆議院提出案　六十頁
第二節　承諾ヲ求ムルノ件　六十頁
第三節　豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件　百三十四頁
第四節　決算　百六十三頁
第五節　建議案　百六十五頁
第六節　動議案　百七十七頁
第七節　質問　百七十八頁
第八節　請願　百八十頁
第五章　諸表　百八十三頁
一　議案件數表　百八十九頁
一　議案表　二百三頁
一　質問表　二百四頁
一　議事日表　二百七頁
一　自第一回議會至第二十三回議會開會日時比較表　四百十一頁
一　自第一回議會至第二十三回議會議案件數、議事件數、開會日數及時間數一覽表　四百十二頁
一　委員概表　四百三十四頁
一　常任委員會細表　四百三十七頁
一　請願書道府縣別表　四百三十九頁
一　請願書類別表　四百四十七頁
一　自第一回議會至第二十三回議會請願書件數比較一覽表　四百六十七頁
四百八十九頁

一　議員出席闕席表

一　自第一回議會至第二十三回議會　議員出席比例一覽表　四百九十二頁

一　自第一回議會至第二十三回議會　傍聽人員表　四百九十五頁

一　自第一回議會至第二十三回議會　印刷物比較表　四百九十七頁

①第一章　召集及成立

明治三十九年十一月十五日左ノ帝國議會召集ノ　勅諭ヲ發セラル

朕帝國憲法第七條及第四十一條ニ依リ本年十二月二十五日ヲ以テ帝國議會ヲ東京ニ召集ス

十二月二十五日貴族院議員召集ノ　勅諭ヲ奉シテ貴族院ニ集會ス午前九時三十五分議長ハ議員ヲ議場ニ集メ席次表ニ依リ著席セシム

議長ハ貴族院規則第五條ニ依リ書記官ヲシテ抽籤セシメ議員ノ部屬ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一部

侯爵　花山院親家　子爵　谷　干城　子爵　渡邊　昇

子爵　堤　功長　子爵　錦織敎久　子爵　大宮以季

子爵　青山幸宜　子爵　山口弘達　子爵　鍋島直虎

子爵　板倉勝達　子爵　牧野貞寧　子爵　鍋島直柔

子爵 鳥居忠文
子爵 梅小路定行
子爵 伊集院兼知
前田正名
男爵 德久恆範
男爵 山內豐政
男爵 藤大路親春
男爵 安場末喜
柴田家門
伊藤長次郎

第二部

威仁親王殿下
恆久王殿下
侯爵 伊藤博文

菊麿王殿下
公爵 九條道實
侯爵 中山孝麿

邦彥王殿下
侯爵 山縣有朋
侯爵 蜂峨公勝

子爵 新庄直陳
子爵 松平容大
男爵 眞木長義
小牧昌業
男爵 中川與長
男爵 吉川重吉
男爵 千秋季隆
男爵 島津忠欽
江木千之
辰巳楢太郎

子爵 黑田和志
子爵 松平直德
兒島惟謙
男爵 有地品之允
男爵 十多副元
男爵 靑山元
男爵 北大路實信

侯爵 大久保利和
伯爵 島津忠亮
子爵 井伊直安
子爵 前田利定
男爵 鍋島幹
久保田讓
男爵 本多政以
重野安繹
大澤謙二
村井彌兵衛
五十嵐敬止

侯爵 伊達宗陳
伯爵 松平直亮
子爵 內田正學
男爵 野村素介
調所廣丈
男爵 村田經芳
西村亮吉
南鄕茂光
木下廣次
谷新助

侯爵 四條隆愛
伯爵 廣澤金次郎
子爵 大田原一清
男爵 赤松則良
服部一三
男爵 南光利
何禮之
松本鼎
堀眞五郎
絲原武太郎

第三部

貞愛親王殿下
侯爵 細川護成

公爵 一條實輝
男爵 岩村通俊

侯爵 久我通久
伯爵 松木宗隆

男爵 本田親雄
子爵 加納久宜
子爵 松平直平
宮本小一
男爵 伊藤篤吉
名村泰藏
田中芳男
古澤滋
男爵 小野尊光
男爵 高崎安彦
男爵 清水資治
得能通昌
谷井勘藏

男爵 松岡康毅
子爵 仙石政固
男爵 牧野忠篤
三浦安
男爵 前島密
村田保
男爵 鈴木大亮
山川健次郎
男爵 片岡利和
男爵 金子有卿
男爵 島津珍彦
男爵 眞田幸世
男爵 淺野守夫
渡正元
馬屋原二郎
山田春三
伊澤平藏
澤原俊雄

子爵 由利公正
子爵 唐橋在正
男爵 尾崎三良
男爵 伊藤篤吉
名村泰藏
田中芳男
古澤滋
男爵 小野尊光
男爵 高崎安彦
男爵 清水資治
得能通昌
谷井勘藏

第四部

公爵 二條基弘
侯爵 池田詮政
侯爵 徳川頼倫

子爵 芳川顯正
男爵 楫取素彦
子爵 堀田正養
子爵 稻垣太祥
子爵 松平忠礼
松尾臣善
男爵 松本順
男爵 新田忠純
中島永元
古荘嘉門
加藤正恵
淺野長太郎
下郷傳平

伯爵 大原重朝
男爵 原田一道
子爵 本多忠敬
子爵 松平直敬
長谷部辰連
男爵 木梨精一郎
男爵 藤枝雅之
金井之恭
磯邊包義
田島竹之助
長尾四郎右衛門
宮崎喜久太郎

伯爵 吉井幸藏
子爵 戸田忠行
子爵 高木正善
子爵 堀河護麿
子爵 千家尊福
黒忠憲
男爵 石黒忠憲
男爵 佐野延勝
男爵 小早川四郎
木場貞長
下條正雄
松村脩平
本間千代吉

第五部

邦憲王殿下

侯爵　西郷從德
伯爵　萬里小路通房
子爵　松平乘承
子爵　樋口誠康
子爵　酒井忠亮
男爵　松平正直
男爵　渡邊千秋
男爵　菊池大麓
男爵　安藤直行
　　富井政章
　　細谷巖太郎
村岡淺右衛門
森　廣三郎

侯爵　蜂須賀茂韶
侯爵　西郷寅太郎
伯爵　萬里小路通房
子爵　松平乘承
子爵　樋口誠康
子爵　酒井忠亮
男爵　松平正直
男爵　渡邊千秋
男爵　菊池大麓
男爵　安藤直行
　　富井政章
　　細谷巖太郎
村岡淺右衛門
森　廣三郎

侯爵　佐竹義生
伯爵　正親町實正
伯爵　柳原義光
子爵　毛利元忠
子爵　青木信光
男爵　小畑美稻
男爵　相浦紀道
男爵　平田東助
男爵　沖守固
男爵　平野長祥
　　高木豊三
菊池長四郎
鎌田榮吉

侯爵　佐竹義生
伯爵　正親町實正
伯爵　柳原義光
子爵　毛利元忠
子爵　青木信光
男爵　小畑美稻
男爵　相浦紀道
男爵　平田東助
男爵　沖守固
男爵　平野長祥
　　高木豊三
菊池長四郎
鎌田榮吉

第六部

邦芳王殿下

侯爵　尚　典
子爵　山本實庸
子爵　野宮定穀
　　三好退藏
男爵　千田貞曉
男爵　尚　順
千坂高雅
一木喜德郎
穗積八束
高橋新吉
清瀨善三
土居通博

公爵　鷹司熙通
伯爵　大村純雄
子爵　岡部長職
子爵　京極高德
子爵　三島彌太郎
　　周布公平
　　大浦兼武
小原　適
鮫島武之助
堀　基
河島　醇
兒玉淳一郎
佐藤伊左衛門
桑田熊藏

侯爵　德大寺實則
子爵　井上　勝
子爵　竹內惟忠
子爵　三島彌太郎
　　平山成信
波多野敬直
三宅　秀
奧山政敬
室田義文
高橋是清
伊澤修二
內藤宇兵衛
日高榮三郎

下村辰右衛門

第七部

戴仁親王殿下

公爵　三條公美　侯爵　多嘉王殿下　公爵　毛利元昭

侯爵　池田仲博　伯爵　大炊御門幾麿　侯爵　山内豐景

子爵　平松時厚　子爵　裏松良光　子爵　本莊壽巨

子爵　松平康民　子爵　高野宗順　子爵　松平親信

辻　新次　男爵　岡内重俊　男爵　北垣國道

男爵　茨木惟昭　男爵　四條隆平　男爵　藤村紫朗

男爵　實吉安純　男爵　西五辻文仲　男爵　玉松眞幸

男爵　毛利五郎　男爵　河邊博長　男爵　諫早家榮

男爵　二條正麿　石井省一郎　安藤則命

森山　茂　古市公威　都筑馨六

阿部　浩　湯地定基　兒玉利國

木村誓太郎　橋本雄造　吉野周太郎

鳥越貞敏

第八部

依仁親王殿下　守正王殿下

公爵　德川慶喜　公爵　岩倉具定　伯爵　松浦詮

伯爵　宗重望　伯爵　室町公大　伯爵　柳澤保惠

子爵　鍋島直彬　子爵　一柳末德　子爵　久留島通簡

子爵　舟橋遂賢　子爵　持明院基哲　子爵　本莊宗義

子爵　水野直　男爵　船越衛　男爵　園田安賢

男爵　高木兼寬　小松原英太郎　高平小五郎

男爵　野田豁通　山脇玄　黒岡帶刀

男爵　後藤新平　男爵　杉溪言長　男爵　中島久万吉

湯地定基　富田鐵之助　馬屋原彰

原保太郎　田健治郎　武井守正

目賀田種太郎　菊池武夫　安廣伴一郎
秋月新太郎　鎌田勝太郎　田代保之
河田與惣左衛門

第九部

嘉仁親王殿下　公爵　島津忠濟　侯爵　淺野長勳
侯爵　大山巖　侯爵　鍋島直大　侯爵　西園寺公望
侯爵　德川義禮　侯爵　木戸孝正　侯爵　松平康莊
伯爵　清棲家教　男爵　鄉純造　子爵　伏原宣足
子爵　藤井行德　子爵　山內豐誠　子爵　有馬賴之
男爵　小澤武雄　男爵　伊達宗敦　　田邊輝實
關義臣　男爵　川口武定　男爵　辻健介
男爵　紀俊秀　男爵　若王子文健　男爵　德川厚
男爵　長松篤棐　谷森眞男　山田爲暄
藤田四郎　高崎親章　野崎啓造

中村雄次郎　關清英　安樂兼道
宮島誠一郎　岩村兼善　宮本谷藏
左右田金作　堀之內庄右衛門　並木和一
道源權治

議長ハ貴族院規則第七條及第九條ニ依リ各部ニ於テ部長及理事ヲ互選スヘキ旨ヲ宣告ス議員乃チ各部ニ退ク

各部ハ貴族院規則第七條ニ依リ各〻其ノ管理者ヲ定メ部長及理事ヲ互選ス

各部ニ於テ定メタル管理者ハ左ノ如シ

第一部　男爵　眞木長義　第二部　重野安繹
第三部　男爵　本田親雄　第四部　金井之恭
第五部　男爵　沖守固　第六部　清瀨善三
第七部　兒玉利國　第八部　富田鐵之助
第九部　宮島誠一郎

各部ニ於ケル部長及理事ノ當選人左ノ如シ

第一部
部長　子爵谷干城
理事　子爵堤功長

第二部
部長　伯爵島津忠亮
理事　南郷茂光

第三部
部長　侯爵細川護成
理事　男爵前島密

第四部
部長　公爵二條基弘
理事　子爵堀田正養

第五部
部長　伯爵正親町實正
理事　伯爵徳川達孝

第六部
部長　子爵岡部長職
理事　大浦兼武

第七部
部長　子爵曾我祐準
理事　子爵平松時厚

第八部
部長　伯爵松浦詮
理事　男爵船越衛

第九部
部長　伯爵清棲家教
理事　男爵小澤武雄

部長及理事確定シタルヲ以テ議長ハ之ヲ議院ニ報告シ散會ヲ宣告ス時ニ午前十一時四分ナリ

即日議長ハ貴族院成立ノ旨ヲ政府及衆議院ニ通知セリ

此ノ日集會シタル議員ハ二百七十九人ナリ

附記

新任議員ニ付部屬確定後ニ於テ定マリタル部屬左ノ如シ

第一部　小栗富治郎（明治三十九年十二月二十九日部屬決定）
第二部　櫻木嘉右衛門（明治四十年一月二十二日同上）
第三部　加藤宇兵衛（同上）

○第二章　開會式及閉會式

○第一節　開會式

明治三十九年十二月二十八日兩院議員ヲ貴族院ニ會合セシメ
天皇陛下親臨シテ開會ノ式ヲ擧ケ給フ
是ヨリ先キ十二月二十六日左ノ帝國議會開會ノ　詔ヲ發セラル
朕帝國憲法第七條及議院法第五條ニ依リ十二月二十八日ヲ以テ帝國議會ノ
開會ヲ命ス
午前十時兩院議長、副議長及議員各議院ニ參集ス
午前十時三十分親王、王、內閣總理大臣、各大臣、大臣禮遇、樞密院副議長、樞密顧問官
等參列ノ諸員貴族院ニ參集ス
皇太子殿下ハ東宮大夫、東宮侍從長、東宮武官長其ノ他ノ供奉員ヲ率キテ午前十
時二十六分貴族院ニ臨マセラル
午前十時三十分　車駕宮城ヲ發シ王、侍從長、宮內大臣、侍從武官長、宮內次官、式部
長、主馬頭、式部次長其ノ他ノ供奉員ヲ率ヰ午前十時五十三分貴族院ニ　臨御ア

ラセラル衆議院議長、兩院副議長、書記官長及書記官ハ貴族院正門內ニ整列奉迎
シ貴族院議長ハ玄關ニ奉迎シテ直ニ便殿ニ奉導ス、
陛下便殿ニ　著御アラセラルルヤ兩院議員ハ各〻其ノ議長ノ指揮ニ從ヒ式場ニ
整列ス同時兩院議長、書記官長及書記官式場ニ參列ス
同時內閣總理大臣、各大臣禮遇、樞密院副議長、樞密顧問官各〻式場ニ參列ス是
ニ於テ式部長　出御ヲ奏請ス
陛下式部長ノ奉導ヲ以テ東宮竝親王、王以下供奉員ヲ從ヘ式場ニ　出御アラセ
ラル供奉員一同列ニ著ク
陛下玉座ニ　著御アラセラルルヤ各員最敬禮ヲ行フ
立御內閣總理大臣侯爵西園寺公望　勅語書ヲ奉進ス
陛下親シク左ノ　勅語ヲ賜フ
朕茲ニ帝國議會開院ノ式ヲ行ヒ貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク
帝國ト締盟列國トノ交際益〻親厚ヲ加フルハ朕深ク之ヲ欣フ
朕ハ國務大臣ニ命シテ國力ノ發展ト國防ノ充實ニ必要ナル經畫ヲ定メ之ニ

基キタル明治四十年度豫算案ハ各般ノ法律案ト共ニ議會ノ議ニ付セシム卿等克ク朕カ意ヲ體シ和衷協賛ノ任ヲ竭シ以テ朕カ望ム所ニ副ヘヨ

滿場肅然各員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ貴族院議長公爵德川家達　御前ニ進ミ勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス是ニ於テ

陛下式部長ノ奉導ヲ以テ東宮竝親王、王以下供奉員ヲ從ヘ便殿ニ　入御アラセラレ午前十一時二十一分衆議院正門ヲ出テ　還幸アラセラル兩院議長、副議長、書記官長、書記官衆議院正門內ニ整列奉送ス

當日式場ニ於ケル參列員左ノ如シ

參列員

嘉仁親王殿下、威仁親王殿下、載仁親王殿下、博恭王殿下、內閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅、農商務大臣松岡康毅、海軍大臣齋藤實、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、內務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董、大臣禮遇伯爵土方久元、同子爵樞密院副議長伯爵東久世通禧、樞密顧問官子爵中牟田倉之助、同男爵九鬼隆一、同男爵高崎正風、同

侯爵蜂須賀茂韶、同男爵伊東巳代治、同子爵野村靖、同子爵林友幸、同男爵清浦奎吾、同男爵南部甕男、式部官長崎省吾、同山內勝明

供奉參列員

邦彥王殿下、侍從長侯爵德大寺實則、宮內大臣子爵田中光顯、侍從武官長男爵岡澤精、宮內次官男爵花房義質、式部長伯爵戶田氏共、主馬頭子爵藤波言忠、式部次長伊藤勇吉

東宮大夫侯爵中山孝麿、東宮侍從長侯爵木戶孝正、東宮武官長村木雅美

十二月二十九日議長公爵德川家達ハ議院ノ委託ニ依リ　勅語奉答書ヲ起草シテ之ヲ議院ニ諮ヒ議決ノ後同日午前十時三十分之ヲ携ヘテ參內ス

此ノ日議長ハ大禮服ヲ着用シ坂下門ヲ入リ東車寄ヨリ昇殿ス午前十一時鳳凰ノ間ニ於テ謁ヲ賜フ議長　御前ニ進ミ左ノ奉答書ヲ上奏ス

貴族院議長臣德川家達誠恐誠惶謹テ

叡聖文武天皇陛下ニ上奏ス

第二十三回帝國議會ノ開會ニ際シ玆ニ盛典ヲ擧ケ優渥ナル

勅語ヲ賜フ臣等謹テ
叡旨ヲ奉體シ愼重審議協賛ノ任ヲ竭シ以テ
皇猷ヲ賛襄セムコトヲ期ス臣家達恐懼ノ至ニ堪ヘス謹テ奉答ス
陛下左ノ　勅語ヲ賜フ
朕貴族院ノ深厚ナル敬禮ヲ嘉ス
同日午前十一時三十分議長ハ議場ニ於テ奉答書上奏ノ始末ヲ報告シ且賜フ所ノ　勅語ヲ奉讀ス議員一同起立シテ最敬禮ヲ行フ

附記

開院式諸次第及式場圖ハ前回ニ同シキヲ以テ之ヲ略ス

○第二節　閉會式

明治四十年三月二十七日内閣總理大臣ヨリ左ノ通牒ヲ受領セリ

本月二十八日貴族院ニ於テ帝國議會閉會式執行被　仰出候此段及通牒候也

三月二十八日午前十時兩院議長、副議長及議員各議院ニ參集ス

午前十一時一分兩院議員ハ各、其ノ議長ノ指揮ニ從ヒ式場ニ整列ス同時兩院議長、書記官長及書記官式場ニ參列ス

同時各大臣以下參列ノ諸員式場ニ着席ス

午前十一時五分内閣總理大臣侯爵西園寺公望進テ左ノ辭ヲ述ヘ　勅語ヲ奉讀ス

本大臣ハ本日　勅命ヲ奉シ茲ニ帝國議會閉會式　勅語ヲ奉讀スルノ榮ヲ辱ウス

勅語

朕貴族院及衆議院ノ各員ニ告ク

朕本日ヲ以テ帝國議會ノ閉會ヲ命シ併セテ卿等勵精能ク協賛ノ任ヲ竭セルノ勞ヲ嘉奬ス

各員拜聽シテ最敬禮ヲ行フ貴族院議長公爵徳川家達進テ　勅語書ヲ拜受シテ列ニ復ス是ニ於テ式畢ル時ニ午前十一時十八分ナリ

附記

閉會式次第、式場圖及參列員氏名ハ之ヲ略ス

○第三章　議員、委員、國務大臣及政府委員

○第一節　議員席次

明治四十年三月二十七日現在議員ノ席次左ノ如シ

一　嘉仁親王殿下
二　貞愛親王殿下
三　威仁親王殿下
四　載仁親王殿下
五　依仁親王殿下
六　邦芳王殿下
七　博恭王殿下
八　菊麿王殿下
九　邦憲王殿下
十　邦彥王殿下
十一　守正王殿下
十二　多嘉王殿下
十三　恆久王殿下
十四　公爵徳川慶喜
十五　公爵岩倉具定
十六　公爵鷹司熙通
十七　公爵三條基弘
十八　公爵徳川家達
十九　公爵島津忠濟
二十　公爵一條實輝
二十一　公爵毛利元昭
二十二　公爵九條道實
二十三　公爵三條公美
二十四　侯爵淺野長勳
二十五　侯爵徳大寺實則
二十六　侯爵久我通久
二十七　侯爵蜂須賀茂韶
二十八　侯爵山縣有朋
二十九　侯爵伊藤博文
三十　侯爵大山巖
三十一　侯爵鍋島直大
三十二　侯爵西園寺公望
三十三　侯爵中山孝麿
三十四　侯爵嵯峨公勝
三十五　侯爵大久保利和
三十六　侯爵徳川義禮
三十七　侯爵木戸孝正
三十八　侯爵黒田長成
三十九　侯爵松平康莊
四十　侯爵佐竹義生
四十一　侯爵尙典
四十二　侯爵細川護成
四十三　侯爵池田詮政
四十四　侯爵伊達宗陳
四十五　侯爵徳川賴倫
四十六　侯爵大炊御門幾麿
四十七　侯爵山內豐景
四十八　侯爵池田仲博
四十九　侯爵花山院親家
五十　侯爵西鄕從徳

五十一　侯爵　四條隆愛
五十三　子爵　芳川顯正
五十五　伯爵　松浦詮
五十七　伯爵　大原重朝
五十九　伯爵　島津忠亮
六十一　伯爵　大村純雄
六十三　伯爵　松平直亮
六十五　伯爵　吉井幸藏
六十七　伯爵　室町公大
六十九　伯爵　柳澤保惠
七十一　伯爵　柳原義光
七十三　男爵　鄉　純造
七十五　子爵　井上　勝
七十七　男爵　原田一道

五十二　侯爵　西鄉寅太郎
五十四　男爵　岩村通俊
五十六　伯爵　正親町實正
五十八　伯爵　萬里小路通房
六十　伯爵　清棲家敎
六十二　伯爵　德川達孝
六十四　伯爵　宗　重望
六十六　伯爵　松木宗隆
六十八　伯爵　寺島誠一郎
七十　伯爵　廣澤金次郎
七十二　子爵　谷　干城
七十四　子爵　渡邊　昇
七十六　男爵　楫取素彥
七十八　男爵　本田親雄

七十九　松岡康毅
八十一　子爵　曾我祐準
八十三　子爵　伏原宣足
八十五　子爵　由利公正
八十七　子爵　錦織敎久
八十九　子爵　山本實庸
九十一　子爵　仙石政固
九十三　子爵　竹內惟忠
九十五　子爵　野宮定穀
九十七　子爵　一柳末德
九十九　子爵　堀田正養
百一　子爵　內田正學
百三　子爵　青山幸宜
百五　子爵　大久保忠順

八十　子爵　鍋島直彬
八十二　子爵　平松時厚
八十四　子爵　堤　功長
八十六　子爵　裏松良光
八十八　子爵　加納久宜
九十　子爵　岡部長職
九十二　子爵　藤井行德
九十四　子爵　唐橋在正
九十六　子爵　戶田忠行
九十八　子爵　大宮以季
百　子爵　井伊直安
百二　子爵　松平乘承
百四　子爵　山口弘達
百六　子爵　大田原一清

百七　子爵　鍋島直虎
百九　子爵　板倉勝達
百十一　子爵　牧野貞寧
百十三　子爵　鳥居忠文
百十五　子爵　本莊壽巨
百十七　子爵　新莊直陳
百十九　子爵　黑田和志
百二十一　子爵　舟橋遂賢
百二十三　子爵　毛利元忠
百二十五　子爵　梅小路定行
百二十七　子爵　三島彌太郎
百二十九　子爵　松平容大
百三十一　子爵　松平直徳
百三十三　子爵　高野宗順

百八　子爵　高木正善
百十　子爵　山內豐誠
百十二　子爵　鍋島直柔
百十四　子爵　京極高徳
百十六　子爵　松平康民
百十八　子爵　久留島通簡
百二十　子爵　本多忠敬
百二十二　子爵　持明院基哲
百二十四　子爵　樋口誠康
百二十六　子爵　稻垣太祥
百二十八　子爵　入江爲守
百三十　子爵　松平直平
百三十二　子爵　青木信光
百三十四　子爵　有馬賴之

百三十五　子爵　牧野忠篤
百三十七　子爵　永井尙敏
百三十九　子爵　伊集院兼知
百四十一　子爵　松平直敬
百四十三　子爵　前田利定
百四十五　子爵　水野直
百四十七　男爵　尾崎三良
百四十九　宮本小一
百五十一　男爵　眞木長義
百五十三　三好退藏
百五十五　男爵　北垣國道
百五十七　男爵　伊藤雋吉
百五十九　三浦安
百六十一　男爵　千家尊福

百三十六　子爵　酒井忠亮
百三十八　子爵　本莊宗秀
百四十　子爵　堀河康隆
百四十二　子爵　松平忠禎
百四十四　子爵　松平親信
百四十六　辻新次
百四十八　男爵　野村素介
百五十　男爵　岡內重俊
百五十二　男爵　小畑美稻
百五十四　男爵　松平正直
百五十六　濱尾新
百五十八　男爵　赤松則良
百六十　男爵　相浦紀道
百六十二　男爵　前島密

百六十三　男爵　小澤武雄
百六十五　男爵　渡邊千秋
百六十七　男爵　船越衛
百六十九　兒島惟謙
百七十一　長谷部辰連
百七十三　男爵　園田安賢
百七十五　小牧昌業
百七十七　村田保
百七十九　松尾臣善
百八十一　男爵　茨木惟昭
百八十三　男爵　高木兼寬
百八十五　小松原英太郎
百八十七　男爵　菊池大麓
百八十九　服部一三

百六十四　男爵　鍋島幹
百六十六　淺田德則
百六十八　男爵　調所廣丈
百七十　名村泰藏
百七十二　前田正名
百七十四　周布公平
百七十六　田中芳男
百七十八　平山成信
百八十　男爵　有地品之允
百八十二　男爵　伊達宗敦
百八十四　男爵　平田東助
百八十六　高平小五郎
百八十八　男爵　野田豁通
百九十　男爵　四條隆平

百九十一　男爵　石黑忠悳
百九十三　田邊輝實
百九十五　大浦兼武
百九十七　關義臣
百九十九　男爵　寺島秋介
二百一　德久恒範
二百三　波多野敬直
二百五　男爵　村田經芳
二百七　山川健次郎
二百九　男爵　片岡利和
二百十一　男爵　後藤新平
二百十三　江木千之
二百十五　男爵　藤枝雅之
二百十七　男爵　金子有卿

百九十二　山脇玄
百九十四　男爵　千田貞曉
百九十六　黑岡帶刀
百九十八　男爵　木梨精一郎
二百　古澤滋
二百二　久保田讓
二百四　男爵　藤村紫朗
二百六　男爵　實吉安純
二百八　男爵　佐野延勝
二百十　男爵　西五辻文仲
二百十二　男爵　沖守固
二百十四　男爵　中川與長
二百十六　男爵　小野尊光
二百十八　男爵　安藤直行

二百十九　男爵　玉松眞幸
二百二十一　男爵　川口武定
二百二十三　男爵　杉溪言長
二百二十五　男爵　新田忠純
二百二十七　男爵　平野長祥
二百二十九　男爵　辻　健介
二百三十一　男爵　山內豐政
二百三十三　男爵　小早川四郎
二百三十五　男爵　毛利五郎
二百三十七　男爵　藤大路親春
二百三十九　男爵　德川　厚
二百四十一　男爵　北大路實信
二百四十三　男爵　尙　順
二百四十五　男爵　中島久万吉

二百二十　男爵　本多副元
二百二十二　男爵　島津珍彥
二百二十四　男爵　南　光利
二百二十六　男爵　南岩倉具威
二百二十八　男爵　高崎安彥
二百三十　男爵　紀　俊秀
二百三十二　男爵　吉川重吉
二百三十四　男爵　青山　元
二百三十六　男爵　河邊博長
二百三十八　男爵　若王子文健
二百四十　男爵　千秋季隆
二百四十二　男爵　眞田幸世
二百四十四　男爵　安場末喜
二百四十六　男爵　島津忠欽

二百四十七　男爵　長松篤棐
二百四十九　男爵　小原　適
二百五十一　男爵　本多政以
二百五十三　男爵　二條正麿
二百五十五　西村亮吉
二百五十七　三宅　秀
二百五十九　安藤則命
二百六十一　金井之恭
二百六十三　重野安繹
二百六十五　南郷茂光
二百六十七　富田鐵之助
二百六十九　森山　茂
二百七十一　原　保太郎
二百七十三　山田爲暄

二百四十八　男爵　諫早家崇
二百五十　男爵　淺野守夫
二百五十二　男爵　清水資治
二百五十四　石井省一郎
二百五十六　谷森眞男
二百五十八　何　禮之
二百六十　渡　正元
二百六十二　中島永元
二百六十四　湯地定基
二百六十六　松本　鼎
二百六十八　千坂高雅
二百七十　馬屋原彰
二百七十二　古市公威
二百七十四　田　健治郎

二百七十五　藤田四郎
二百七十七　都筑馨六
二百七十九　奥山政敬
二百八十一　富井政章
二百八十三　阿部浩
二百八十五　岡田良平
二百八十七　目賀田種太郎
二百八十九　柴田家門
二百九十一　關清英
二百九十三　山田春三
二百九十五　堀基
二百九十七　高木豊三
二百九十九　山本達雄
三百一　兒玉利國

二百七十六　武井守正
二百七十八　鮫島武之助
二百八十　大澤謙二
二百八十二　木下廣次
二百八十四　高崎親章
二百八十六　野崎啓造
二百八十八　中村雄次郎
二百九十　一木喜德郎
二百九十二　湯地定監
二百九十四　菊池武夫
二百九十六　木場貞長
二百九十八　馬屋原二郎
三百　磯邊包義
三百二　安廣伴一郎

三百三　室田義文
三百五　古莊嘉門
三百七　得能通昌
三百九　河島醇
三百十一　高橋新吉
三百十三　宮島誠一郎
三百十五　岩村兼善
三百十七　堀眞五郎
三百十九　加藤正恵
三百二十一　櫻木嘉右衛門
三百二十三　村井彌兵衛
三百二十五　宮本谷藏
三百二十七　木村誓太郎
三百二十九　橋本雄造

三百四　安樂兼道
三百六　下條正雄
三百八　穗積八束
三百十　高橋是清
三百十二　兒玉淳一郎
三百十四　伊澤修二
三百十六　秋月新太郎
三百十八　田島竹之助
三百二十　清瀨善三
三百二十二　伊澤平藏
三百二十四　細谷巖太郎
三百二十六　阿由葉吟次郎
三百二十八　谷新助
三百三十　左右田金作

三百三十一　吉野周太郎
三百三十三　谷井勘藏
三百三十五　絲原武太郎
三百三十七　廣海二三郎
三百三十九　淺野長太郎
三百四十一　鎌田榮吉
三百四十三　內藤宇兵衞
三百四十五　加藤宇兵衞
三百四十七　堀之內庄右衞門
三百四十九　澤原俊雄
三百五十一　並木和一
三百五十三　小栗富治郎
三百五十五　桑田熊藏
三百五十七　宮崎喜久太郎

三百三十二　菊池長四郎
三百三十四　村岡淺右衞門
三百三十六　松村脩平
三百三十八　長尾四郎右衞門
三百四十　本間千代吉
三百四十二　佐藤伊左衞門
三百四十四　五十嵐敬止
三百四十六　鎌田勝太郎
三百四十八　辰己楢太郎
三百五十　田代保之
三百五十二　鳥越貞敏
三百五十四　土居通博
三百五十六　道源權治
三百五十八　日高榮三郎

三百五十九　森廣三郎
三百六十一　下村辰右衞門
三百六十三　河田與惣左衞門

三百六十　下鄉傳平
三百六十二　伊藤長次郎

○第二節　議員異動

○第一　死亡及吊辭

明治三十九年四月八日議員靡香間祇候從二位勳一等子爵長岡護美薨去ス依テ
同月十一日左ノ吊辭ヲ贈レリ

貴族院ハ議員靡香間祇候從二位勳一等子爵長岡護美君ノ長逝ヲ追悼シ恭ク
吊辭ヲ呈ス（吊辭ハ其ノ文例同ジキヲ以テ他ハ之ヲ畧ス）

同年六月十八日議員正五位勳五等矢野次郎卒去ス依テ同月十九日吊辭ヲ贈レリ

同年六月二十三日議員陸軍歩兵中佐從二位勳三等伯爵坊城俊章薨去ス依テ同
月二十六日吊辭ヲ贈レリ

同年六月二十八日議員永澤清之助死去ス依テ七月二日吊辭ヲ贈レリ

同年八月二十日議員從一位勲四等侯爵德川茂承薨去ス依テ同月二十二日弔辭ヲ贈レリ

明治四十年二月一日議員錦鷄間祗候正三位勲二等男爵鈴木大亮薨去ス依テ同月二日弔辭ヲ贈レリ

同年三月十三日議員陸軍軍醫總監從三位勲一等男爵松本順薨去ス依テ同月十四日弔辭ヲ贈レリ

○第二　辭職

明治三十九年四月十七日辭表呈出
同年五月十七日辭職勅許　男爵　清浦奎吾

明治三十九年四月十八日辭表呈出
同年五月十七日辭職勅許　男爵　曾禰荒助

明治三十九年七月二日辭表呈出
同年七月六日辭職勅許　若尾幾造

明治三十九年八月十日辭表呈出
同年八月二十三日辭職勅許　山口玄洞

明治三十九年八月二十日辭表呈出
同年八月二十七日辭職勅許　岩月直彦

明治三十九年八月二十一日辭表呈出
同年九月三日辭職勅許　野崎武吉郎

明治三十九年九月三日辭表呈出
同年九月十二日辭職勅許　坂本理一郎

明治三十九年九月三日辭表呈出
同年九月十二日辭職勅許　中田清兵衛

明治三十九年九月十九日辭表呈出
同年九月二十一日辭職勅許　五藤正形

明治三十九年九月二十六日辭表呈出
同年九月二十九日辭職勅許　神野金之助

明治三十九年十月五日辭表呈出
同年十月十日辭職勅許　佐々木嘉太郎

明治三十九年十二月十一日辭表呈出
同年十二月十五日辭職勅許　男爵　加藤弘之

○第三　補闕選擧

明治三十九年五月五日當選　從三位子爵　戸田忠行

附記
明治三十九年二月二十六日議員子爵伊東祐麿薨去ニ依リ同年三月一日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

明治三十九年五月十八日當選　從四位子爵　本莊宗義

附記
明治三十九年三月二日議員子爵山井兼文辭職　勅許ニ依リ同年三月三日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

明治三十九年六月二日當選

附記

明治三十九年三月十九日議員男爵末松謙澄辭職　勅許ニ依リ同年三月二十日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

明治三十九年六月二十七日勅任　　正三位勳一等　男爵　眞木長義

附記

明治三十九年三月二十二日議員江角柳四郎死去ニ依リ同年三月二十五日補闕選擧ヲ上奏シ同年六月十一日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

明治三十九年六月二十八日當選　　正四位　子爵　持明院基哲

附記

明治三十九年四月八日議員子爵長岡護美薨去ニ依リ同年四月十一日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

明治三十九年八月二十五日當選　　正四位　伯爵　寺島誠一郎

附記

明治三十九年六月二十三日議員伯爵坊城俊章薨去ニ依リ同年六月二十六日其ノ補闕選擧ヲ上奏セリ

明治三十九年九月二十九日勅任　　伊澤平藏

附記

明治三十九年六月二十八日議員永澤清之助死去ニ依リ同年七月三日補闕選擧ヲ上奏シ同年九月十四日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

明治三十九年九月二十九日勅任　　左右田金作

附記

明治三十九年七月六日議員若尾幾造辭職　勅許ニ依リ同年七月九日補闕選擧ヲ上奏シ同年九月十四日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

明治三十九年十二月十三日勅任　　谷新助

附記

明治三十九年八月二十三日議員山口玄洞辭職　勅許ニ依リ同年八月二十八日補闕選擧ヲ上奏シ同年十一月十二日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

明治三十九年十二月十三日勅任

附記

明治三十九年八月二十七日議員岩月直彦辭職　勅許ニ依リ同年八月二十八日補闕選擧ヲ上奏シ同年十一月十八日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

堀之内庄右衛門

明治三十九年十二月十三日勅任

附記

明治三十九年九月三日議員野崎武吉郎辭職　勅許ニ依リ同年九月六日補闕選擧ヲ上奏シ同年十一月十一日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

土居通博

明治三十九年十二月十三日勅任

附記

明治三十九年九月十二日議員中田清兵衛辭職　勅許ニ依リ同年九月十三日補闕選擧ヲ上奏シ同年十一月二十四日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

淺野長太郎

明治三十九年十二月十四日勅任

附記

河田與惣左衛門

明治三十九年九月十二日議員坂本理一郎辭職　勅許ニ依リ同年九月十三日補闕選擧ヲ上奏シ同年十一月二十八日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

小栗富治郎

明治三十九年十二月二十八日勅任

附記

明治三十九年九月二十九日議員神野金之助辭職　勅許ニ依リ同年十月一日補闕選擧ヲ上奏シ同年十二月十二日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

櫻木嘉右衛門

明治三十九年十二月二十九日勅任

附記

明治三十九年九月二十一日議員五藤正形辭職　勅許ニ依リ同年九月二十五日補闕選擧ヲ上奏シ同年十二月七日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

加藤宇兵衛

明治四十年一月十八日勅任

附記

明治三十九年十月十日議員佐々木嘉太郎辭職　勅許ニ依リ同年十月十二日補闕選擧ヲ上奏シ同年十二月二十五日其ノ補闕選擧ニ當選セリ

○第四　新任

明治三十九年五月十七日

同　　従四位勳三等功四級　湯地定監

同　　従三位勳三等　男爵　片岡利和

同　　正四位勳三等　阿部浩

同　　従四位勳三等　山田春三

○第五　就職

明治三十九年九月七日

○第三節　全院委員長

明治三十九年十二月二十九日議院法第二十一條第一項及貴族院規則第十六條ニ依リ無名投票ヲ以テ全院委員長ノ選擧ヲ行ヒシニ其ノ結果左ノ如シ

百六十三票

子爵　谷　干城

四票

公爵　二條基弘

一票

伯爵　徳川達孝

一票

乃チ最多數ヲ以テ子爵谷干城當選セリ

○第四節　常任委員

明治三十九年十二月二十九日貴族院規則第二章第三節ノ各條ニ依リ各部ニ於テ常任委員ノ選擧ヲ行ヒシニ其ノ當選人左ノ如シ

○資格審査委員

第一部　小牧昌業

第二部　男爵　調所廣丈

第三部　名村泰藏

第四部　子爵　芳川顯正

第五部　富井政章

第六部　波多野敬直

第七部　森山茂

第八部　馬屋原彰

第九部　關清英

本委員ハ明治四十年一月二十二日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

男爵　金子有卿

南郷茂光

委員長　子爵　芳川顯正

副委員長　富井政章

○豫算委員

第一部

子爵　谷　干城　子爵　堤　功長　男爵　有地品之允
男爵　中川興長　男爵　吉川重吉

第二部

伯爵　廣澤金次郎　子爵　井伊直安　子爵　內田正學
西村亮吉　南鄉茂光

第三部

伯爵　松木宗隆　子爵　松平直平　子爵　牧野忠篤
男爵　前島　密　古澤　滋

第四部

伯爵　吉井幸藏　子爵　堀田正養　子爵　稻垣太祥
中島永元　下條正雄

第五部

伯爵　正親町實正　伯爵　萬里小路通房　男爵　松平正直
淺田德則　岡田良平

第六部

子爵　井上　勝　子爵　岡部長職　子爵　三島彌太郎
高橋新吉　日高榮三郎

第七部

子爵　曾我祐準　子爵　松平康民　男爵　實吉安純
男爵　西五辻文仲　木村誓太郎

第八部

子爵　久留島通簡　男爵　船越　衛　男爵　高木兼寬
小松原英太郎　鎌田勝太郎

第九部

子爵　伏原宣足　男爵　小澤武雄　男爵　川口武定

男爵　紀俊秀

藤田四郎

本委員ハ明治四十年一月二十六日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　伯爵　正親町實正　　副委員長　男爵　松平正直

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ五科ニ分テリ乃チ左ノ如シ

第一科（歳入歳出大藏省）

伯爵　正親町實正　　伯爵　松木宗隆　　子爵　稻垣太祥
子爵　牧野忠篤　　男爵　中川與長　　男爵　吉川重吉
西村亮吉　　中島永元　　鎌田勝太郎
兼務　子爵　三島彌太郎　　兼務　小松原英太郎　兼務　男爵　紀俊秀
兼務　木村誓太郎

第二科（外務省司法省）

子爵　井上勝　　子爵　伏原宣足　　子爵　岡部長職
子爵　井伊直安　　子爵　久留島通簡　　男爵　松平正直
男爵　西五辻文仲　　高橋新吉　　日高榮三郎
兼務　淺田德則

第三科（内務省文部省）

伯爵　萬里小路通房　　子爵　谷干城　　子爵　堤功長
子爵　松平康民　　男爵　船越衛　　男爵　高木兼寛
小松原英太郎　　男爵　實吉安純　　男爵　紀俊秀

第四科（陸軍省海軍省）

伯爵　吉井幸藏　　子爵　堀田正養　　子爵　內田正學
子爵　松平直平　　男爵　小澤武雄　　男爵　有地品之允
男爵　川口武定　　南鄉茂光　　下條正雄
兼務　伯爵　廣澤金次郎　兼務　子爵　久留島通簡　兼務　男爵　實吉安純
兼務　鎌田勝太郎

第五科（農商務省遞信省）

伯爵　廣澤金次郎　子爵　曾我祐準　子爵　三島彌太郎
男爵　前島　密　淺田德則　古澤　滋
藤田四郎　岡田良平　木村誓太郎
兼務　子爵　伏原宣足　兼務　男爵　小澤武雄　兼務　男爵　有地品之允
兼務　南郷茂光

二月九日各科ニ於テ主査ヲ互選セリ其ノ當選人左ノ如シ

第一科　主査　伯爵　正親町實正
第二科　主査　子爵　岡部長職
第三科　主査　子爵　谷　干城
第四科　主査　男爵　有地品之允
第五科　主査　子爵　曾我祐準

○懲罰委員

第一部　子爵　新莊直陳　第二部　男爵　赤松則良
第三部　男爵　島津珍彦　第四部　伯爵　大原重朝
第五部　子爵　酒井忠亮　第六部　奥山政敬
第七部　子爵　裏松良光　第八部　子爵　鍋島直彬

第九部　子爵　山内豐誠

本委員ハ明治四十年一月二十二日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　伯爵　大原重朝
副委員長　子爵　鍋島直彬

○請願委員

第一部　男爵　藤大路親春　辰巳楢太郎
第二部　子爵　大田原一清　伊藤長次郎
第三部　子爵　唐橋在正　谷　新助
第四部　男爵　小野尊光　絲原武太郎
第五部　子爵　本多忠敬　男爵　金子有卿
男爵　藤枝雅之　長尾四郎右衛門

村岡淺右衛門　廣海二三郎　鎌田榮吉

第六部　三宅秀　佐藤伊左衛門　内藤宇兵衛

第七部　子爵松平親信　男爵二條正麿　吉野周太郎

第八部　子爵持明院基哲　子爵本莊宗義　男爵中島久万吉

第九部　子爵有馬賴之　宮島誠一郎　並木和一

本委員ハ明治四十年一月二十二日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長　三宅秀

副委員長　子爵唐橋在正

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ三科ニ分チ各科ニ於テ主査ヲ互選セリ乃チ左ノ如シ

法制科

主査　子爵唐橋在正　子爵大田原一清　男爵小野尊光

男爵金子有卿　男爵藤大路親春　谷新助

絲原武太郎　辰巳楢太郎　伊藤長次郎

租稅科

主査　子爵本多忠敬　男爵藤枝雅之　三宅秀

村岡淺右衛門　廣海二三郎　長尾四郎右衛門

鎌田榮吉　佐藤伊左衛門　内藤宇兵衛

雜科

主査　子爵持明院基哲　子爵有馬賴之　子爵本莊宗義

子爵松平親信　男爵中島久万吉　男爵二條正麿

宮島誠一郎　吉野周太郎　並木和一

○決算委員

第一部

子爵 山口弘達　子爵 鳥居忠文　男爵 青山元

第二部　伯爵 島津忠亮　子爵 前田利定　男爵 野村素介

第三部　子爵 加納久宜　馬屋原二郎　澤原俊雄

第四部　男爵 小早川四郎　宮崎喜久太郎　下郷傳平

第五部　伯爵 柳原義光　子爵 青木信光　男爵 南岩倉具威

第六部　子爵 竹内惟忠　室田義文　桑田熊藏

第七部　男爵 茨木惟昭　石井省一郎　鳥越貞敏

第八部

子爵 水野直　男爵 野田豁通　河田與惣左衛門

第九部　男爵 若王子文健　谷森眞男　道源權治

本委員ハ明治四十年一月二十二日貴族院規則第三十五條ニ依リ正副委員長ヲ互選セシニ其ノ當選人左ノ如シ

委員長 伯爵 柳原義光　副委員長 子爵 鳥居忠文

又同日本委員ハ貴族院規則第四十五條ニ依リ委員ヲ四科ニ分テリ乃チ左ノ如シ

第一科（歳入歳出大藏省）　伯爵 柳原義光　子爵 青木信光　子爵 前田利定

第二科（外務省、内務省、司法省）　子爵 水野直　谷森眞男　澤原俊雄

兼務　男爵 南岩倉具威　兼務　桑田熊藏

男爵　若王子文健　　石井省一郎
　　室田義文
第三科（陸軍省、海軍省）
伯爵　島津忠亮　　男爵　野村素介　　男爵　茨木惟昭
男爵　野田豁通　　桑田熊藏　　宮崎喜久太郎
　　河田與惣左衛門　　兼務　谷森眞男
第四科（文部省、農商務省、遞信省）
子爵　加納久宜　　子爵　竹内惟忠　　子爵　鳥居忠文
男爵　青山元　　鳥越貞敏　　道源權治
　　下郷傳平

二月二十五日各科ニ於テ主査ヲ互選セリ其ノ當選人左ノ如シ

第一科　主査　谷森眞男
第二科　主査　男爵　南岩倉具威
第三科　主査　男爵　野田豁通
第四科　主査　子爵　加納久宜

○第五節　國務大臣及政府委員

本會期ニ於ケル國務大臣及政府委員左ノ如シ

○國務大臣

內閣總理大臣　侯爵　西園寺公望
陸軍大臣　寺內正毅
農商務大臣　松岡康毅
海軍大臣　齋藤實
大藏大臣　法學博士　阪谷芳郎
遞信大臣　山縣伊三郎
司法大臣　松田正久
內務大臣　原敬
文部大臣　牧野伸顯
外務大臣　子爵　林董

○政府委員

政府委員

外務省所管事務政府委員

統監府鐵道管理局長官工學博士　古市公威
統監府通信管理局長　池田十三郎
統監府書記官子爵　兒玉秀雄
樺太民政署民政長官　熊谷喜一郎
馬政官　新山莊輔
同　增田熊六

法制局長官法學博士　岡野敬次郎
法制局參事官　道家齊
統監府總務長官　鶴原定吉

外務次官　珍田捨己
外務省通商局長　石井菊次郎
外務省政務局長　山座圓次郎
外務省參事官　安達峰一郎

內務省所管事務政府委員

內務省神社局長兼內務省參事官法學博士　水野錬太郎
內務省地方局長　床次竹二郎
內務省警保局長　古賀廉造
內務省土木局長　犬塚勝太郎
內務省衞生局長　窪田靜太郎
內務書記官　大谷靖
北海道廳長官　河島醇

外務書記官　西村賤夫
外務省參事官　倉知鐵吉
關東都督府民政長官　石塚英藏
關東都督府事務官　蠟山長治郎
關東都督府通信事務官　加藤順次郎

內務次官　吉原三郎

大藏省所管事務政府委員

北海道廳事務官　高岡直吉
北海道廳技師　齋藤音作
臺灣總督府民政長官　祝辰巳
臺灣總督府事務官　峽謙齋

大藏次官　若槻禮次郎
煙草專賣局長官　仁尾惟茂
大藏省理財局長　水町袈裟六
大藏省主計局長　荒井賢太郎
大藏省主稅局長　櫻井鐵太郎
煙草專賣局部長　濱口雄幸
大藏書記官　永濱盛三
臨時國債整理局書記官　勝田主計
大藏書記官　菅原通敬

陸軍省所管事務政府委員

同　長尾泰辰
同　市來乙彥

陸軍省經理局長
陸軍次官　石本新六
陸軍省經理局主計總監　外松孫太郎
陸軍省經理局主計課長
陸軍一等主計正　湯本善太郎

海軍省所管事務政府委員

海軍次官　加藤友三郎
海軍主計總監　村上敬次郎
海軍主計中監　宇都宮鼎

司法省所管事務政府委員

司法次官
法學博士　河村譲三郎
檢事　倉富勇三郎
司法省民刑局長　平沼騏一郎

文部省所管事務政府委員

司法省參事官　齋藤十一郎
司法書記官　柏原與次郎
司法省參事官　谷野格

文部次官　澤柳政太郎
文部省實業學務局長工學博士　眞野文二
文部省普通學務局長　白仁武
文部省專門學務局長　福原鐐二郎
文部書記官　松村茂助

農商務省所管事務政府委員

農商務次官　和田彦次郎
製鐵所長官　中村雄次郎
農商務省農務局長　牧朴眞
農商務省山林局長　久米金彌

遞信省所管事務政府委員

農商務省商工局長　森田茂吉
特許局長　織田一
農商務省鑛山局長　磯部正春
農商務省水產局長　神山閏次
製鐵所書記官　大谷順作
農商務書記官　岡本英太郎

遞信次官　仲小路廉
鐵道作業局長官工學博士　平井晴二郎
遞信省鐵道局長　山之內一次
遞信省通信局長　小松謙次郎
遞信省管船局長　內田嘉吉
遞信省經理局長　關宗喜

○第四章　議事

○第一節　法律案

○第一　政府提出案

政府提出法律案ハ四十七件ニシテ其ノ可決シタルモノ四十三件、否決シタルモノ二件、撤回セラレシモノ二件トス

可決シタルモノ

一　明治二十九年法律第十三號中改正法律案(六十四頁)

一　在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(六十五頁)

一　郵便法中改正法律案(六十七頁)

一　貨幣法中改正法律案(六十九頁)

一　韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案(七十頁)

一　刑法改正案(七十一頁)

一　事業公債條例中改正法律案(七十六頁)

一　北海道地方費法中改正法律案(七十八頁)

一　官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案(七十九頁)

一　千住製絨所据置運轉資本增加ニ關スル法律案(八十一頁)

一　帝國大學特別會計法案(八十二頁)

一　學校及圖書館特別會計法案(八十四頁)

一　關東都督府特別會計法案(八十六頁)

一　臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案(八十七頁)

一　東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案(八十九頁)

一　樺太廳特別會計法案(九十頁)

一　樺太地方裁判所及同管內二區裁判所設置ニ關スル法律案(九十二頁)

一　海港檢疫法中改正法律案(九十三頁)

一　煙草專賣法中改正法律案(九十五頁)

一　保稅倉庫法中改正法律案(九十六頁)

一　瀨豫防ニ關スル法律案(九十八頁)

一　輸入原料砂糖戻稅法中改正法律案(九十九頁)

一　鐵道敷設法中改正法律案(百一頁)
一　韓國森林特別會計法案(百三頁)
一　日本勸業銀行法中改正法律案(百四頁)
一　農工銀行法中改正法律案(百五頁)
一　北海道拓殖銀行法中改正法律案(百五頁)
一　種牡牛檢查法案(百六頁)
一　森林法改正法律案(百八頁)
一　樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案(百十頁)
一　明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰趣ス
　場合ニ於ケル剩餘金繰入ニ關スル法律案(百十一頁)
一　藥品營業並藥品取扱規則中改正法律案(百十三頁)
一　裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院ト
　ノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案(百十五頁)
一　關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案(百十六頁)

一　樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案(百十八頁)
一　臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案(百十九頁)
一　移民保護法中改正法律案(百二十一頁)
一　市町村立小學校敎員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案(百二十二頁)
一　租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案(百二十四頁)
一　統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案
　(百二十五頁)
一　統監府、關東都督府及樺太等在勤巡查、看守及女監取締ノ退隱料及遺族
　扶助料ニ關スル法律案(百二十六頁)
一　韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料
　ニ關スル法律案(百二十六頁)
一　國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案(百二十八頁)

否決シタルモノ

一　郡制廢止法律案(百三十頁)

一　公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案(百三十二頁)

撤回セラレシモノ

一　市制改正法律案(百三十三頁)

一　町村制改正法律案(百三十四頁)

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○可決シタルモノ

○一　明治二十九年法律第十三號中改正法律案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、文部大臣牧野伸顯連署提出

明治四十年一月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ趣旨ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　松平康民　　小牧昌業　　男爵　若王子文健

石井省一郎　　谷森眞男　　岡田良平

伊澤修二　　細谷巖太郎　　澤原俊雄

本委員ハ一月二十四日子爵松平康民ヲ委員長ニ、小牧昌業ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

一月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵松平康民委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第二號ニ在リ

一月二十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

明治二十九年法律第十三號中改正法律ハ四十年二月二十日法律第一號ヲ以テ公布セラレタリ

○二　在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、文部大臣牧野伸

顯、外務大臣子爵林董連署提出

明治四十年一月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス西村亮吉、子爵高野宗順各〻本案ニ付質問ヲ爲シ文部大臣牧野伸顯各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　島津忠亮　　子爵　堤　功長　　子爵　高野宗順
男爵　南　光利　　男爵　一條正麿　　野崎啓造
湯地定監　　宮本谷藏　　土居通博

本委員ハ一月二十四日伯爵島津忠亮ヲ委員長ニ、子爵堤功長ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

一月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵島津忠亮本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第二號ニ在リ

一月二十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

在外指定學校職員退隱料及遺族扶助料法中改正法律ハ四十年二月二十日法律第二號ヲ以テ公布セラレタリ

○三　郵便法中改正法律案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、遞信大臣山縣伊三郎連署提出

明治四十年一月二十二日本案ノ第一讀會ヲ開ク遞信大臣山縣伊三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス西村亮吉、子爵本莊壽巨各〻本案ニ付質問ヲ爲シ遞信大臣山縣伊三郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　鳥居忠文　　子爵　有馬賴之　　男爵　前島密

浅田徳則　男爵　小原　適　中島永元
馬屋原二郎　道源權治　宮崎喜久太郎

本委員ハ一月二十四日男爵前島密ヲ委員長ニ、子爵鳥居忠文ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

一月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵前島密委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告ス、田中芳男本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員遞信省通信局長小松謙次郎之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第二號ニ在リ

一月二十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ二月十六日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

郵便法中改正法律ハ四十年三月十二日法律第七號ヲ以テ公布セラレタリ

○四　貨幣法中改正法律案

明治四十年一月二十二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署提出

明治四十年一月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳原義光　子爵　前田利定　男爵　小澤武雄
男爵　新田忠純　男爵　千秋季隆　武井守正
宮島誠一郎　内藤宇兵衛　下村辰右衛門

本委員ハ二月二日伯爵柳原義光ヲ委員長ニ、男爵小澤武雄ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵柳原義光委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第三號ニ在リ

二月九日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十三日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

貨幣法中改正法律ハ四十年三月六日法律第六號ヲ以テ公布セラレタリ

○五　韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十九日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎　子爵　山口弘達　男爵　小野尊光

男爵　高崎安彥　男爵　眞田幸世　湯地定基

田　健治郎

本委員ハ二月八日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ、湯地定基ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

絲原武太郎　伊藤長次郎

二月九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵廣澤金次郎委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告ス西村亮吉本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第四號ニ在リ

二月九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

韓國鐵道ノ收益勘定缺損補充ニ關スル法律ハ四十年三月二十日法律第十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○六　刑法改正案

明治四十年一月二十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、農商務大臣松岡康毅、海軍大臣齋藤實、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、内務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董連署提出

明治四十年二月二日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

侯爵　黒田長成　　子爵　酒井忠亮　　男爵　尾崎三良
三好退藏　　名村泰藏
小松原英太郎　　波多野敬直
奥山政敬　　富井政章
菊池武夫　　兒玉淳一郎

本委員ハ二月四日侯爵黒田長成ヲ委員長ニ、村田保ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト四回ニシテ審査ヲ了リ同月十二日副委員長ハ委員長ニ代リ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

同月十八日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長村田保委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス關義臣ハ副委員長ノ說明ニ付、男爵伊達宗敦ハ原案ニ付各、質問ヲ爲シ副委員長村田保並政府委員檢事倉富勇三郎各質問ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ直ニ本案ノ第二讀會ヲ開ク關義臣其ノ提出ニ係ル第三條外數條ニ渉ル修正案ノ理由ヲ述ヘ此ニ休憩ヲ宣告セラルル

午後會議ヲ繼續シ富井政章ハ關義臣ノ修正案ヲ辯駁シ次テ子爵谷干城ハ同賛成ノ意見ヲ述フ政府委員倉富勇三郎ハ關義臣ノ修正案反對ノ意見ヲ、子爵谷干城ハ同賛城ハ本案ヲ再審査ニ付スルノ動議ヲ提出ス村田保ハ修正案反對ノ意見ヲ述ヘ關義臣ハ更ニ反對說ヲ辯明シ鎌田榮吉ハ修正案反對ノ意見ヲ述ヘ此ニ採決ヲ行ヒ少數ヲ以テ關義臣ノ修正案全部ヲ否決シ次テ逐條議ニ移リ第一編第一章

以下異議ナク委員會ノ修正ヲ可決シテ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ本案ノ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案竝修正案ハ載セテ速記錄第四號及第七號ニ在リ

二月十八日本案ヲ衆議院ニ送付シ同院ニ於テ更ニ修正ヲ加ヘ三月十四日本院ニ回付セリ

三月十六日議事日程ヲ變更シテ衆議院回付案ノ會議ヲ開ク村田保ノ動議ニ依リ本案ヲ特別委員ニ付託スルコトヲ議決シ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

侯爵　黒田長成　　男爵　尾崎三良
子爵　酒井忠亮　　男爵　岡内重俊
三好退藏　　名村泰藏
小松原英太郎　　波多野敬直
奥山政敬　　富井政章
菊池武夫　　兒玉淳一郎
村田保　　都筑馨六
一木喜徳郎

本委員ハ同日侯爵黒田長成ヲ委員長ニ、村田保ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ衆議院ノ修正ニ同意セサルコトヲ議決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日衆議院回付案會議ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵黒田長成回付案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ其ノ之ニ同意セサルコトヲ議決セル理由ヲ說明シ議院ハ直ニ衆議院回付案ニ同意セサルコトヲ議決セリ衆議院回付案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

是ニ於テ議長ハ議院法第五十五條ニ依リ衆議院ニ對シ兩院協議會ヲ開クノ要求ヲ爲スヘキコトヲ宣告シ議事日程ヲ變更シテ兩院協議委員ノ選擧ヲ行ヒ議院ハ委員ノ數ヲ十名トスルコトヲ議決シ貴族院規則第百八十五條及第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

侯爵　黒田長成　　子爵　酒井忠亮
村田保　　名村泰藏
奥山政敬　　小松原英太郎
富井政章　　波多野敬直
兒玉淳一郎　　一木喜徳郎

本委員ハ同日侯爵黒田長成ヲ議長ニ、村田保ヲ副議長ニ擧ク

同日議院法第五十五條ニ依リ衆議院ニ對シ本案ニ付兩院協議會ヲ開クノ要求ヲ爲シ且兩院協議委員ノ數ヲ十名ト爲スニ決セル旨ヲ通牒セリ

三月二十三日兩院協議委員會同シテ兩院協議會ヲ開キ第四十三條及第七十七條ハ本院議決案ノ通リ、其ノ他ハ衆議院議決案ノ通リト議決シ兩院協議委員議長ハ直ニ兩院協議會成案ヲ具ヘテ其ノ旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日兩院協議會成案ノ會議ヲ開ク兩院協議委員議長侯爵黒田長成本案ノ兩院協議會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ全會一致ヲ以テ成案ヲ可決セリ協議會成案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十五日兩院協議會成案ニ本案ヲ付シテ衆議院ニ送付シ同日同院ヨリ兩院協議會成案ヲ可決シテ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

刑法改正法律ハ四十年四月二十四日法律第四十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○七　事業公債條例中改正法律案

明治四十年一月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月七日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳澤保惠　　子爵　水野直　　男爵　船越衛

男爵　伊達宗敦　　男爵　沖守固　　男爵　河邊博長

男爵　本多政以　　西村亮吉　　廣海二三郎

本委員ハ二月十六日西村亮吉ヲ委員長ニ、男爵船越衛ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長西村亮吉本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ

依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第六號ニ在リ

二月二十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

事業公債條例中改正法律ハ四十年三月十八日法律第九號ヲ以テ公布セラレタリ

○八　北海道地方費法中改正法律案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月七日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員內務次官吉原三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘　　伯爵　萬里小路通房

子爵　本莊宗義　　男爵　金子有鄰

男爵　園田安賢　　男爵　調所廣丈

原　保太郎

本委員ハ二月十六日公爵二條基弘ヲ委員長ニ子爵本莊宗義ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長公爵二條基弘本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第六號ニ在リ

二月十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

北海道地方費法中改正法律ハ四十年三月一日法律第三號ヲ以テ公布セラレタリ

○九　官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律案

明治四十年一月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月七日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵 松木宗隆　子爵 井伊直安　關義臣
男爵 中川輿長　男爵 青山元　馬屋原二郎
古荘嘉門　岩村兼善　辰巳楢太郎

本委員ハ二月十八日伯爵松木宗隆ヲ委員長ニ、關義臣ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵松木宗隆本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第六號ニ在リ

二月二十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件買入ニ關スル法律ハ四十年三月一日法律第五號ヲ以テ公布セラレタリ

○十　千住製絨所据置運轉資本增加ニ關スル法律案

明治四十年一月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月七日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク陸軍大臣寺内正毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵 徳川頼倫　子爵 稻垣太祥　子爵 松平忠禎

男爵　茨木惟昭　　男爵　野田豁通　　中島永元

下條正雄　　清瀬善三　　桑田熊藏

本委員ハ二月十六日侯爵徳川頼倫ヲ委員長ニ、男爵野田豁通ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月十八日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵徳川頼倫本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第六號ニ在リ

二月十八日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

千住製絨所据置運轉資本增加ニ關スル法律ハ四十年三月二十日法律第十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○十一　帝國大學特別會計法案

明治四十年一月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、文部大臣牧野伸顯連署衆議院ニ提出シ、同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月十四日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十八日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　徳川達孝　　子爵　三島彌太郎　　子爵　水野直

辻新次　　男爵　千家尊福　　男爵　石黒忠悳

古澤滋　　男爵　千秋季隆　　森廣三郎

本委員ハ二月十九日伯爵徳川達孝ヲ委員長ニ、子爵三島彌太郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ三月四日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵徳川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ

依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第七號ニ在リ

三月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

帝國大學特別會計法ハ四十年三月二十五日法律第十九號ヲ以テ公布セラレタリ

○十二　學校及圖書館特別會計法案

明治四十年一月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、文部大臣牧野伸顯連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月十四日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十八日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ趣ヲ辯明ス伊澤修二本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員文部書記官松村茂助之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ帝國大學特別會計法案特別委員ニ付託ス

本委員ハ本案ニ付會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ三月四日委員長伯爵鶴川達孝ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵德川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ本案ノ第二讀會ヲ開キ本案全部ヲ議題ト爲ス伊澤修二原案ニ付質問ヲ爲シ政府委員文部次官澤柳政太郎之ニ答辯シ次テ全部委員會ノ修正ヲ可決シテ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案竝修正案ハ載セテ速記錄第七號及第十號ニ在リ

三月七日本案ヲ衆議院ニ回付シ同月九日同院ヨリ本院ノ修正ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

學校及圖書館特別會計法ハ四十年三月二十七日法律第二十三號ヲ以テ公

布セラレタリ

○十三　關東都督府特別會計法案

明治四十年二月一日内閣總理大臣侯爵西園公望、大藏大臣阪谷芳郎、外務大臣子爵林董連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十四日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十八日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　宗重望　　男爵　相浦紀道　　長谷部辰連

男爵　西五辻文仲　　男爵　南光利　　男爵　吉川重吉

石井省一郎　　何禮之　　日高榮三郎

本委員ハ二月十九日伯爵宗重望ヲ委員長ニ、男爵相浦紀道ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長男爵相浦紀道委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第七號ニ在リ

二月二十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

關東都督府特別會計法ハ四十年三月二十日法律第十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○十四　臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

明治四十年二月一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十四日本院ニ送付セリ

明治四十年二月十八日本案ノ第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ

其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　加納久宜　　子爵　唐橋在正　　田中芳男

男爵　南岩倉具威　　男爵　中島久万吉

徳久恆範　　千坂高雅　　左右田金作

金井之恭

本委員ハ二月二十日子爵加納久宜ヲ委員長ニ、田中芳男ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵加納久宜本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第七號ニ在リ

二月二十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律ハ四十年三月一日法律第四號ヲ以テ公布セラレタリ

○十五　東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案

明治四十年二月八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十六日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員内務次官吉原三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　大村純雄　　子爵　竹内惟忠　　子爵　野宮定穀

三浦安　　男爵　小早川四郎　　男爵　二條正麿

湯地定基　　山田春三　　吉野周太郎

二月二十五日子爵竹内惟忠ヲ委員長ニ、子爵野宮定穀ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵竹内惟忠本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號ニ在リ

三月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律ハ四十年三月十八日法律第八號ヲ以テ公布セラレタリ

○十六　樺太廳特別會計法案

明治四十年二月八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十六日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　京極高徳　　子爵　青木信光　　男爵　伊達宗敦

男爵　杉渓言長　　谷森眞男　　馬屋原二郎

室田義文　　下條正雄　　佐藤伊左衛門

本委員ハ二月二十三日谷森眞男ヲ委員長ニ、馬屋原二郎ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長谷森眞男本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號ニ在リ

二月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

樺太廳特別會計法ハ四十年三月二十日法律第十八號ヲ以テ公布セラレタ

リ

○十七　樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案

明治四十年二月八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、司法大臣松田正久連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十六日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク司法大臣松田正久本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　本荘壽巨　　子爵　黒田和志　　男爵　野村素介
男爵　岡内重俊　　名村泰藏　　男爵　中川與長
男爵　藤大路親春　　野崎啓造　　鎌田勝太郎

本委員ハ二月二十二日子爵本荘壽巨ヲ委員長ニ、男爵岡内重俊ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

二月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵本荘壽巨本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス菊池武夫本案反對ノ意見ヲ述ヘ司法大臣松田正久之ヲ辯駁シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號ニ在リ

二月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律ハ四十年三月二十九日法律第二十八號ヲ以テ公布セラレタリ

○十八　海港檢疫法中改正法律案

明治四十年二月十八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署提出

明治四十年二月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依

リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　清棲家教　　子爵　高野宗順　　淡田徳則
男爵　高木兼寛　　黒岡帯刀　　男爵　實吉安純
男爵　清水資治　　絲原武太郎　　鎌田榮吉

本委員ハ二月二十六日伯爵清棲家教ヲ委員長ニ、子爵高野宗順ヲ副委員長ニ挙ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ三月七日委員長ヨリ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵清棲家教本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第八號ニ在リ

三月十一日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月十六日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

海港檢疫法中改正法律ハ四十年六月二十五日法律第五十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○十九、煙草專賣法中改正法律案

明治四十年二月十二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十一日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　徳川頼倫　　子爵　稲垣太祥　　子爵　青木信光
男爵　北大路實信　　男爵　中島久万吉　　森山茂
目賀田種太郎　　村岡淺右衛門　　長尾四郎右衛門

本委員ハ二月二十八日侯爵徳川頼倫ヲ委員長ニ、子爵青木信光ヲ副委員長ニ挙ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報

告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵徳川頼倫本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

煙草專賣法中改正法律ハ四十年三月十九日法律第十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十　保稅倉庫法中改正法律案

明治四十年二月八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十一日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ

旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ズ

子爵 唐橋在正　子爵 松平乘承　子爵 前田利定
男爵 小野尊光　男爵 河邊博長　安廣伴一郎
高橋新吉　加藤正恵　廣海二三郎

本委員ハ二月二十八日高橋新吉ヲ委員長ニ、加藤正恵ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月十二日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十四日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長高橋新吉本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

保稅倉庫法中改正法律ハ四十年三月二十六日法律第二十號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十一　癩豫防ニ關スル法律案

明治四十年二月十二日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十一日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員內務次官吉原三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵柳澤保惠、村田保、男爵伊達宗敦、男爵野田豁通各〻本案ニ付數回ノ質問ヲ爲シ政府委員內務省衞生局長窪田靜太郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎　子爵　梅小路定行　男爵　高木兼寬

男爵　石黑忠悳　男爵　南岩倉具威　男爵　平野長祥

男爵　眞田幸世　三宅秀　木村誓太郎

本委員ハ三月五日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ、男爵高木兼寬ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵廣澤金次郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

癩豫防ニ關スル法律ハ四十年三月十九日法律第十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十二　輸入原料砂糖戾稅法中改正法律案

明治四十年二月六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月二十

一日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵廣澤金次郎、男爵尾崎三良、村田保、千阪高雅、田中芳男各〻本案ニ付質問ヲ爲シ大藏大臣阪谷芳郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

子爵谷干城　子爵鍋島直彬　子爵加納久宜
子爵岡部長職　小牧昌業　男爵茨木惟昭
男爵平田東助　山川健次郎　男爵吉川重吉
男爵小原適　西村亮吉　南郷茂光
山本達雄　鎌田榮吉　日高榮三郎

本委員ハ三月七日子爵谷干城ヲ委員長ニ、子爵鍋島直彬ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ同月十五日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵谷干城本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ續テ自己ノ意見ヲ述ヘ子爵會我祐準委員會ノ決議ニ關ン質問ヲ爲シ特別委員長子爵谷干城之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ直ニ第二讀會ヲ開キ本案全部ヲ問題ト爲ス鎌田榮吉本案ノ大體ニ付意見ヲ述ヘ子爵會我祐準ハ該發言ノ時機ニ關シ意見ヲ述ヘ次テ本案全部ヲ可決シテ第二讀會ヲ了リ貴族院規則第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第三讀會ヲ開キ第二讀會ノ決議案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月十九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

輸入原料砂糖戻稅法中改正法律ハ以テ公布セラレタリ

○二十三　鐵道敷設法中改正法律案

明治四十年二月十二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十一日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク遞信大臣山縣伊三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘　　子爵　井上勝　　子爵　一柳末徳
子爵　永井尚敏　　男爵　千田貞暁　　關義臣
男爵　佐野延勝　　土居通博　　伊藤長次郎

本委員ハ三月四日公爵二條基弘ヲ委員長ニ、子爵井上勝ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長公爵二條基弘本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鐵道敷設法中改正法律ハ四十年三月十八日法律第十號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十四　韓國森林特別會計法案

明治四十年一月十九日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ二月二十三日本院ニ送付セリ

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正　　子爵　牧野忠篤　　男爵　尾崎三良

男爵 淺野守夫　男爵 本多政以　中島永元
柴田家門　村井彌兵衛　加藤宇兵衛

本委員ハ三月九日伯爵正親町實正ヲ委員長ニ、中島永元ヲ副委員長ニ挙ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長中島永元委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第九號ニ在リ

三月十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

韓國森林特別會計法ハ四十年三月二十九日法律第二十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十五　日本勸業銀行法中改正法律案

○二十六　農工銀行法中改正法律案

○二十七　北海道拓殖銀行法中改正法律案

日本勸業銀行法中改正法律案ハ明治四十年三月九日、農工銀行法中改正法律案及北海道拓殖銀行法中改正法律案ハ同月十一日貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス次テ農工銀行法中改正法律案竝北海道拓殖銀行法中改正法律案特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ兩案ノ審査ヲ日本勸業銀行法中改正法律案特別委員ニ付託ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵 新莊直陳　子爵 久留島通簡　辻新次
男爵 玉松眞幸　男爵 毛利五郎　石井省一郎
森山茂　阿由葉吟次郎　田代保之

本委員ハ三月十五日子爵新莊直陳ヲ委員長ニ、辻新次ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ三案孰モ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日三案ノ各第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵新莊直陳三案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ便宜三案ヲ連ネテ問題ト爲シ直ニ各大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク各案ヲ可決セリ各案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

三月十九日各案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十五日同院ヨリ各案孰モ本院ノ議決ニ同意シテ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

日本勸業銀行法中改正法律ハ、四十年四月十日法律第三十七號ヲ以テ、農工銀行法中改正法律ハ同日法律第三十八號ヲ以テ、北海道拓殖銀行法中改正法律ハ同日法律第三十九號ヲ以テ孰モ公布セラレタリ

○二十八　種牡牛檢查法案

明治四十年二月二十三日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ三月九日本院ニ送付セリ

明治四十年三月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク農商務大臣松岡康毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　徳川達孝　　男爵　原田一道　　子爵　伏原宣足
子爵　青山幸宜　　男爵　田中芳男　　男爵　青山元
安廣伴一郎　　伊澤平藏　　淺野長太郎

本委員ハ三月十五日伯爵徳川達孝ヲ委員長ニ、田中芳男ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵徳川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書

ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

三月十九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

種牡牛檢査法ハ四十年四月十日法律第四十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○二十九　森林法改正法律案

明治四十年三月十一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望農商務大臣

松岡康毅連署提出

明治四十年三月十四日本案ノ第一讀會ヲ開ク農商務大臣松岡康毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス子爵高野宗順武井守正本案ニ付各〻質問ヲ爲シ農商務大臣松岡康毅各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

公爵　二條基弘　子爵　平松時厚　子爵　松平直敬

男爵　尾崎三良　男爵　園田安賢

男爵　安場末喜　宮本小一

藤田四郎　原保太郎

岡田良平　武井守正

辰己楢太郎　澤原俊雄

本委員ハ三月十六日公爵二條基弘ヲ委員長ニ、原保太郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト四回ニシテ審査ヲ了リ同月二十一日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月二十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長公爵二條基弘本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ異議ナク委員會ノ修正ヲ可決セリ本案及修正案ハ載セテ速記錄第十二號及第十六號ニ在リ三月二十三日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十三日同院ヨリ本院ノ修正ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

森林法改正法律ハ四十年四月二十三日法律第四十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十　樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律案

明治四十年二月二十五日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ三月十二日本院ニ送付セリ

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員内務次官吉原三郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵廣澤金次郎本案ニ付質問ヲ爲シ政府委員樺太民政署民政長官熊谷喜一郎各質問ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　廣澤金次郎　　子爵　松平直平　　男爵　小澤武雄

男爵　島津珍彦　　男爵　山内豐政　　田　健治郎

宮島誠一郎　　松村脩平　　並木和一

本委員ハ三月十八日伯爵廣澤金次郎ヲ委員長ニ、男爵小澤武雄ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵廣澤金次郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二續會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三續會ヲ開キテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月十九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

樺太ニ於ケル租稅ニ關スル法律ハ四十年三月二十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十一　明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越

ス場合ニ於ケル剰餘金繰入ニ關スル法律案

明治四十年三月一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、文部大臣牧野伸顯連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十二日本院ニ送付セリ

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　寺島誠一郎　　子爵　鍋島直彬　　子爵　板倉勝達
男爵　野村素介　　長谷部辰連　　男爵　杉渓言長
男爵　若王子文健　　木場貞長　　河田與惣左衛門

本委員ハ三月十八日伯爵寺島誠一郎ヲ委員長ニ、子爵鍋島直彬ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵寺島誠一郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月十九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十九年度一般會計所屬ノ經費ヲ各帝國大學特別會計ニ繰越ス場合ニ於ケル剰餘金繰入ニ關スル法律ハ四十年三月二十七日法律第二十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十二　藥品營業竝藥品取扱規則中改正法律案

明治四十年三月十二日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署提出

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員内務省衛生局長窪田靜太郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正　　子爵　松平親信　　男爵　高木兼寛

男爵　實吉安純　　男爵　小原適　　三宅秀

中島永元　　大澤謙二　　田島竹之助

本委員ハ三月十八日伯爵正親町實正ヲ委員長ニ、男爵高木兼寛ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵正親町實正本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月十九日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十五日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

藥品營業竝藥品取扱規則中改正法律ハ四十年四月十日法律第三十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十三　裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律案

明治四十年三月十六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、司法大臣松田正久、內務大臣原敬、外務大臣子爵林董連署提出

明治四十年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員關東都督府民政長官石塚英藏本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　大久保忠順　　子爵　鍋島直虎　　名村泰藏

男爵　玉松眞幸　　男爵　新田忠純　　奧山政敬

菊池武夫　　谷井勘藏　　堀之內庄右衞門

本委員ハ三月二十三日子爵大久保忠順ヲ委員長ニ、子爵鍋島直虎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ同月二十五日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月三十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵大久保忠順本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十四號ニ在リ

三月二十六日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十七日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

裁判所、臺灣總督府法院、統監府法務院又ハ理事廳ト關東都督府法院トノ間ニ於ケル法律上ノ共助ニ關スル法律ハ四十年九月五日法律第五十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十四　關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法案

明治四十年三月十六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺內正毅連署提出

明治四十年三月十九日本案ノ第一讀會ヲ開ク陸軍大臣寺內正毅本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　樋口誠康　　子爵　松平容大　　男爵　小澤武雄
男爵　有地品之允　　男爵　野田豁通　　男爵　佐野延勝
男爵　安藤直行　　男爵　本多政以　　櫻木嘉右衞門

本委員ハ三月二十三日男爵小澤武雄ヲ委員長ニ、子爵樋口誠康ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十三日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵小澤武雄本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十四號ニ在リ

三月二十三日本案ヲ衆議院ニ送付シ同月二十五日同院ヨリ本院ノ議決ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

關東都督府及韓國駐劄軍陸軍軍法會議法ハ四十年五月一日法律第四十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十五　樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

明治四十年三月九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、司法大臣松田正久、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月十八日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク內務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　岡部長職　　子爵　青木信光　　久保田讓

男爵　金子有卿　　男爵　中島久万吉　　石井省一郎

一木喜德郎　　穗積八束　　桑田熊藏

本委員ハ三月二十三日子爵岡部長職ヲ委員長ニ、穗積八束ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十五日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵岡部長職本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

三月二十五日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

樺太ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律ハ四十年三月二十九日法律第二十五號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十六　臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律案

明治四十年三月六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十九日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵 舟橋遂賢　子爵 松平直徳　三浦安
古澤滋　男爵 毛利五郎　男爵 淺野守夫
谷森眞男　田健治郎　澤原俊雄

本委員ハ三月二十五日子爵舟橋遂賢ヲ委員長ニ、三浦安ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月二十六日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵舟橋遂賢本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キ異議ナク委員會ノ修正ヲ可決セリ本案及修正案ハ載セテ速記錄第十五號及第十八號ニ在リ

三月二十六日本案ヲ衆議院ニ回付シ同日同院ヨリ本院ノ修正ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

附記

臺灣ニ於ケル特別ノ輸入稅ニ關スル法律ハ四十年三月三十日法律第三十號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十七　移民保護法中改正法律案

明治四十年三月一日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、外務大臣子爵林董連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月十九日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員外務次官珍田捨巳本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵 仙石政固　子爵 三島彌太郎　宮本小一
男爵 吉川重吉　男爵 安場末喜　何禮之

森山茂　安廣伴一郎　室田義文

本委員ハ三月二十六日子爵三島彌太郎ヲ委員長ニ、安廣伴一郎ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵三島彌太郎本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十四號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

移民保護法中改正法律ハ四十年四月十日法律第三十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十八　市町村立小學校教員退隱料及遺族扶助料法中改正法律案

明治四十年三月十八日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、文部大臣牧野伸顯連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ニ修正ヲ加ヘ同月二十一日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク文部大臣牧野伸顯本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　德川達孝　子爵　大宮以季　子爵　牧野貞寧

辻新次　男爵　野村素介　男爵　野田豁通

男爵　藤枝雅之　中島永元　伊澤修二

本委員ハ三月二十五日伯爵德川達孝ヲ委員長ニ、辻新次ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵德川達孝本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ可リ議院法第二十七條但

書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

市町村立小學校敎員退隱料及遺族扶助料法中改正法律ハ四十年五月三日法律第四十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○三十九　租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律案

明治四十年三月十六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、內務大臣子爵林董、遞信大臣子爵山口弘達連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十三日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　內田正學　　子爵　山口弘達　　男爵　眞木長義

小牧昌業　　男爵　寺島秋介

金井之恭　　中島永元　　五十嵐敬止

本委員ハ三月二十六日子爵內田正學ヲ委員長ニ、子爵山口弘達ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵內田正學本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ

本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

租稅其ノ他ノ收入徵收處分囑託ニ關スル法律ハ四十年四月十日法律第三十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○四十　統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案

○四十一　統監府、關東都督府及樺太等在勤巡査、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

○四十二　韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案

明治四十年三月十五日統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、外務大臣子爵林董連署、統監府、關東都督府及樺太等在勤巡査、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、外務大臣子爵林董連署、韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望署名孰モ衆議院ニ提出シ同院ニ於テ各案ヲ可決シ同月二十三日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十五日三案ノ各第一讀會ヲ開ク政府委員法制局長官岡野敬次郎各案ニ付提出ノ旨趣ヲ辯明シ順次特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ先ツ統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任シ他ノ二案ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ其ノ審査ヲ統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律案特別委員ニ付託ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　島津忠亮　　子爵　松平康民　　男爵　小畑美稻
男爵　赤松則良　　男爵　北大路實信　　山田爲暄
關清英　　磯邊包義　　阿由葉吟次郎

本委員ハ三月二十六日伯爵島津忠亮ヲ委員長ニ、男爵小畑美稻ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ三案孰モ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日三案ノ各第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵島津忠亮三案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ孰モ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ各、三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク三案ヲ可決セリ各議案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十七日各案ノ裁可ヲ奏請シ又各案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

統監府及關東都督府等在勤官吏ノ恩給及遺族扶助料ニ關スル法律ハ四十年五月十五日法律第四十八號ヲ以テ、統監府關東都督府及樺太等在勤巡査、看守及女監取締ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律第四十九號ヲ以テ韓國ニ在勤スル居留民團立在外指定學校職員ノ退隱料及遺族扶助料ニ關スル法律ハ同年四月二十三日法律第四十四號ヲ以テ孰モ公布セラレタリ

○四十三　國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律案

明治四十年三月二十一日内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十三日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　青山幸宜　　子爵　牧野忠篤　　男爵　相浦紀道

男爵　藤枝雅之　　男爵　諫早家崇　　南郷茂光

山本達雄　　岩村兼善　　加藤宇兵衛

本委員ハ三月二十六日南郷茂光ヲ委員長ニ、男爵相浦紀道ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長南郷茂光本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十七號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

國庫出納上一錢未滿ノ端數計算ニ關スル法律ハ四十年三月三十日法律第

三十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○否決セシモノ

○一　郡制廢止法律案

明治四十年二月十九日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ三月二日本院ニ送付セリ

明治四十年三月六日本案ノ第一讀會ヲ開ク內務大臣原敬本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス伯爵柳澤保惠本案ノ大體ニ付質問ヲ爲シ內務大臣原敬之ニ答辯ス馬屋原彰ハ本案ノ敎育、造林事業、農事及財政ニ及ホス影響ニ付主務大臣ノ說明ヲ求メ文部大臣牧野伸顯、農商務大臣松岡康毅及政府委員大藏次官若槻禮次郎交〻之ニ答辯シ男爵松平正直ハ郡制廢止ノ目的ハ郡役所及郡長廢止ニ在ルヤ否ヤヲ質問シ內務大臣原敬之ニ答辯ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十六條但書ニ依リ委員ノ數ヲ十五名ト定メ同第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ如ク指名ス

子爵曾我祐準　子爵加納久宜　子爵三島彌太郎

子爵牧野忠篤　男爵岡內重俊　男爵船越衛

男爵伊達宗敦　小松原英太郎　男爵南岩倉具威

男爵紀俊秀　男爵二條正麿　千坂高雅

一木喜德郎　廣海二三郎　內藤宇兵衛

本委員ハ三月七日子爵曾我祐準ヲ委員長ニ、子爵加納久宜ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト三回ニシテ審査ヲ了リ同月十八日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵曾我祐準本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告ス一木喜德郎本案反對ノ意見ヲ述ヘ鎌田榮吉本案贊成ノ意見ヲ述ヘ議長ハ此ニ休憩ヲ宣告ス

午後會議ヲ繼續シ村田保ハ贊否ノ意見ヲ決スル爲主務大臣ニ對シ質問ヲ爲シ內務大臣原敬之ニ答辯ス次テ小松原英太郎ハ本案反對ノ意見ヲ述ヘ馬屋原彰ハ本案贊成ノ意見ヲ述フ內務大臣原敬反對說ヲ辯駁シ伯爵柳原義光ノ動議ニ依リ此ニ討論ヲ終局シ次テ記名投票ヲ以テ採決シ白票百八ニ對スル靑票百四

十九ノ多數ヲ以テ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案ハ載セテ速記錄第十號ニ在リ

三月二十一日本案ニ付更ニ廟議ヲ盡サレムコトヲ奏請シ又本案否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○二　公共團體課稅ノ制限ニ關スル法律案

明治四十年三月十五日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、內務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ本案ヲ可決シ同月二十三日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十五日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎本案提出ノ旨趣ヲ辯明ス次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ其ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　曾我祐準　　男爵　梅小路定行　　男爵　松平正直

前田正名　　男爵　四條隆平　　田邊輝實

男爵　本多副元　　谷森眞男　　菊池長四郎

本委員ハ三月二十六日子爵曾我祐準ヲ委員長ニ、男爵松平正直ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト二回ニシテ審査ヲ了リ同月二十七日委員長ハ修正案ヲ具ヘテ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵曾我祐準本案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ併セテ修正ノ理由ヲ說明ス西村亮吉修正案ニ付質問ヲ爲シ特別委員長子爵曾我祐準之ニ答辯ス次テ西村亮吉、藤田四郎各、原案ニ付質問ヲ爲シ政府委員內務次官吉原三郎、大藏大臣阪谷芳郎交、之ニ答辯シ男爵船越衞本案反對ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案竝修正案ハ載セテ速記錄第十七號及第十九號ニ在リ

三月二十七日本案ニ付更ニ廟議ヲ盡サレムコトヲ奏請シ又本案否決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○一　市制改正法律案

○撤回セラレシモノ

○二　町村制改正法律案

明治四十年二月十九日兩案各、内閣總理大臣侯爵西園寺公望、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ兩案ニ修正ヲ加ヘ三月九日貴族院本院ニ送付セリ

明治四十年三月十四日兩案ノ第一讀會ヲ開ク内務大臣原敬兩案提出ノ旨趣ヲ辯明シ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ兩案ノ審査ヲ郡制廢止法律案特別委員ニ付託ス

本委員ハ兩案ノ審査ニ着手スルニ至ラス而シテ三月二十三日政府ニ於テ本案ヲ撤回セリ兩議案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

同日政府ニ於テ兩案ヲ撤回セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○第二　衆議院提出案

衆議院提出案ハ二十八件ニシテ其ノ可決シタルモノ九件、否決シタルモノ五件、議決ニ至ラサリシモノ十四件トス

可決シタルモノ

一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（岡山地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件）（百三十七頁）

一　戸籍法中改正法律案（百三十八頁）

一　印紙稅法中改正法律案（百三十九頁）

一　關稅定率法輸入稅表中改正法律案（百四十一頁）

一　煙草專賣法中改正法律案（百四十二頁）

一　鑛業法中改正法律案（百四十四頁）

一　和歌山縣下郡界變更法律案（百四十五頁）

一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（靜岡地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件）（百四十六頁）

一　明治三十四年法律第二十七號中改正法律案（百四十八頁）

否決シタルモノ

一　治安警察法中改正法律案（百四十九頁）

一　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案（百五十頁）

一　北海道ニ市制ヲ施行スル法律案（百五十二頁）

一　北海道會法中改正法律案（百五十二頁）

一　北海道地方費法中改正法律案(百五十二頁)

議決ニ至ラサリシモノ

一　東京市制案(百五十四頁)

一　衆議院議員選擧法中改正法律案(第八條第三號中改正)(百五十五頁)

一　衆議院議員選擧法中改正法律案(別表中横須賀市等追加其ノ他ノ件)(百五十五頁)

一　衆議院議員選擧法中改正法律案(別表中沖繩縣ノ項改正)(百五十五頁)

一　渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法律案(百五十六頁)

一　家祿賞典祿處分ニ關スル法律案(百五十七頁)

一　府縣制中改正法律案(百五十八頁)

一　日本水產銀行法案(百五十八頁)

一　漁業法中改正法律案(百五十九頁)

一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(名古屋地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件)(百六十頁)

一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(陸奥國ヲ函館控訴院ノ管轄ニ變更ノ件)(百六十頁)

一　會計法中改正法律案(百六十一頁)

一　市場法案(百六十二頁)

一　明治三十四年法律第三十九號中改正法律案(百六十二頁)

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○可決シタルモノ

○一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案(岡山地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件)

明治四十年二月二十三日提出

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　池田詮政　　子爵　大田原一清　　子爵　入江爲守

男爵　紀俊秀　　何禮之

野崎啓造　　本間千代吉

奥山政敬

本委員ハ二月二十八日侯爵池田詮政ヲ委員長ニ、奥山政敬ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵池田詮政本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律ハ四十年三月十九日法律第十三號ヲ以テ公布セラレタリ

○二　戸籍法中改正法律案

明治四十年二月二十三日提出

明治四十年二月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　細川護成　　子爵　堀河護麿　　子爵　松平親信

男爵　若王子文健　　古澤滋　　男爵　藤大路親春

富井政章　　桑田熊藏

名村泰藏

本委員ハ三月六日侯爵細川護成ヲ委員長ニ、富井政章ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十一日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長富井政章委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第九號ニ在リ

三月十一日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議ニ通知セリ

附記

戸籍法中改正法律ハ四十年三月十九日法律第十四號ヲ以テ公布セラレタリ

○三　印紙稅法中改正法律案

明治四十年三月二日提出

明治四十年三月十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳原義光　　子爵　前田利定
男爵　德川厚　　武井守正　　男爵　小澤武雄
　　柴田家門
　　室田義文　　小栗富治郎　　下郷傳平

本委員ハ三月十四日伯爵柳原義光ヲ委員長ニ、男爵小澤武雄ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月十六日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月十九日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵柳原義光本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十一號ニ在リ

三月十九日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

印紙稅法中改正法律ハ四十年三月二十九日法律第二十七號ヲ以テ公布セラレタリ

○四　關稅定率法輸入稅表中改正法律案

明治四十年三月二日提出

明治四十年三月十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　柳澤保惠　　子爵　山口弘達　　田邊輝實
男爵　本多副元　　男爵　長松篤棐　　馬屋原彰
　　關清英　　橋本雄造　　鳥越貞敏

本委員ハ三月十九日伯爵柳澤保惠ヲ委員長ニ、馬屋原彰ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十三日副委員長ハ本案ヲ可決セル旨

ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク副委員長馬屋原彰委員長ニ代リテ本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十一號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

關稅定率法輸入稅表中改正法律ハ四十年三月三十日法律第二十九號ヲ以テ公布セラレタリ

○五　煙草專賣法中改正法律案

明治四十年三月十二日提出

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開ク子爵大田原一清政府ハ本案ニ對シ同意セルヤ否ヲ質問シ大藏大臣阪谷芳郎政府ノ本案ニ同意スルヲ得サル理由ヲ辯明シ次テ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　吉井幸藏　子爵　大田原一清　兒島惟謙

德久恒範　男爵　高崎安彥　男爵　德川厚

鮫島武之助　下條正雄　佐藤伊左衞門

本委員ハ三月二十一日子爵大田原一清ヲ委員長ニ、男爵德川厚ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十五日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵大田原一清本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ子爵谷干城本案ニ關シ質問シ大藏大臣阪谷芳郎之ニ答辯シ次テ子爵谷干城本案贊成ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

煙草專賣法中改正法律ハ四十年五月二十八日法律第五十號ヲ以テ公布セラレタリ

○六　鑛業法中改正法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　大村純雄　子爵　錦織敎久　子爵　高木正善

男爵　尙順　森山茂　藤田四郎

安廣伴一郎　宮本谷藏　加藤宇兵衞

本委員ハ三月二十五日伯爵大村純雄ヲ委員長ニ、安廣伴一郎ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵大村純雄本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

鑛業法中改正法律ハ四十年四月十日法律第四十一號ヲ以テ公布セラレタリ

○七　和歌山縣下郡界變更法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　松木宗隆　子爵　牧野貞寧

長谷部辰連

徳久恒範　男爵　川口武定　男爵　眞田幸世
男爵　島津忠欽　谷井勘藏　鎌田榮吉

本委員ハ三月二十五日伯爵松木宗隆ヲ委員長ニ、子爵牧野貞寧ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵松木宗隆本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十六日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

和歌山縣下郡界變更法律ハ四十年四月十日法律第三十六號ヲ以テ公布セラレタリ

○八　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（靜岡地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件）

明治四十年三月十八日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　池田詮政　子爵　持明院基哲　子爵　伊集院兼知
男爵　野村素介　兒島惟謙　田邊輝實
男爵　小早川四郎　渡正元　宮崎喜久太郎

本委員ハ三月二十六日子爵持明院基哲ヲ委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長子爵持明院基哲本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ直ニ大體議ヲ了リ議院法第二十七條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ三讀會ノ順序ヲ省略シテ異議ナク本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律ハ四十年三月三十日法律第三十二號ヲ以テ公布セラレタリ

○九　明治三十四年法律第二十七號中改正法律案

明治四十年三月十九日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ本案ノ審査ヲ災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案(衆議院提出)特別委員ニ付託ス

本委員ハ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十五日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ又同日特別委員西村亮吉外二名ヨリ委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵伊達宗敦本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ結果ヲ簡單ニ議院ニ報告シ鳥越貞敏本案委員會ノ報告ニ對スル少數者意見提出ノ旨趣ヲ辯明シ伯爵正親町實正委員會ニ於テ本案ヲ否決スヘキモノト議決セル理由ヲ質問シ鳥越貞敏特別委員トシテ之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開クコトヲ議決シ貴族院規則第六十九條但書及第七十五條但書ニ依リ議院ノ議決ヲ以テ續テ第二、第三讀會ヲ開キテ本案ヲ可決セリ本案ハ戴セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十七日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治三十四年法律第二十七號中改正法律ハ四十年四月十日法律第四十號ヲ以テ公布セラレタリ

○否決シタルモノ

○一　治安警察法中改正法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定

ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　徳川頼倫　　伯爵　廣澤金次郎　　伯爵　柳原義光

大浦兼武　　男爵　関義臣　　男爵　高崎安彦

男爵　長松篤棐　　下郷傳平　　下村辰右衛門

本委員ハ三月二十五日侯爵徳川頼倫ヲ委員長ニ、伯爵廣澤金次郎ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十六日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵徳川頼倫本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ鎌田榮吉本案賛成ノ意見ヲ述ヘ伯爵廣澤金次郎本案反對ノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十七日本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○二　災害地方田畑地租免除ニ關スル法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

男爵　伊達宗敦　　男爵　安藤直行　　男爵　二條正麿

西村亮吉　　松本鼎　　岡田良平

宮島誠一郎　　秋月新太郎　　鳥越貞敏

本委員ハ三月二十三日男爵伊達宗敦ヲ委員長ニ、西村亮吉ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十五日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ又同日特別委員西村亮吉外二名ヨリ委員會ノ報告ニ對スル少數者意見ヲ提出セリ

三月二十七日本案第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長男爵伊達宗敦本案ノ委員會ニ於ケル審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ子爵曾我祐準、伯爵徳川達孝各本案ニ付質問シ委員長男爵伊達宗敦之ニ答辯シ男爵野田豁通本案ニ關シ政府委

員ニ質問シ政府委員大藏次官若槻禮次郎之ニ答辯シ次テ西村亮吉ハ本案委員會ノ報告ニ對スル少數者意見提出ノ旨趣ヲ辯明シ男爵伊達宗敦本案贊成ノ意見ヲ述ヘ政府委員大藏次官若槻禮次郎政府ノ本案ニ同意スルヲ得サル理由ヲ辯明シ男爵伊達宗敦、子爵板倉勝達各〻政府委員ニ質問シ政府委員大藏次官若槻禮次郎交〻之ニ答辯シ此ニ大體議ヲ了リ次テ本案ノ第二讀會ヲ開ヘクキヤ否ヤノ表決ニ付氏名點呼ヲ行ヒ贊成七十五ニ對スル反對百二十五ノ多數ヲ以テ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十七日本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○三　北海道ニ市制ヲ施行スル法律案

○四　北海道會法中改正法律案

○五　北海道地方費法中改正法律案

明治四十年三月十六日三案提出

明治四十年三月二十一日三案ノ各第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案特別委員ニ左ノ九名ヲ指名シ又議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ他ノ二案ヲ連繫事件トシテ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案特別委員ニ付託スヘキ旨ヲ通知セリ

侯爵　佐竹義生　　子爵　裏松良光　　男爵　北垣國道

男爵　園田安賢　　男爵　島津珍彦　　原保太郎

岩村兼善　　並木和一　　道源權治

本委員ハ三月二十五日侯爵佐竹義生ヲ委員長ニ、男爵園田安賢ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト各〻一回ニシテ三案ノ審査ヲ了リ三月二十六日委員長ヨリ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ハ修正案ヲ具ヘ又北海道會法中改正法律案、北海道地方費法中改正法律案ハ各〻之ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十六日議事日程ヲ變更シテ三案ノ各第一讀會ノ續會ヲ開ク特別委員長侯爵佐竹義生委員會ニ於ケル三案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ北海道ニ市制ヲ施行スル法律案ヲ議題トシ一木喜德郎本案ニ付質問シ委員長侯爵

佐竹義生之ニ答辯シ一木喜德郎本案ハ急速施行ノ必要ヲ認メサルヲ以テ之ヲ否決スヘシトノ意見ヲ述ヘ此ニ大體議ヲ了リ議院ハ本案ニ付第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決シ續テ北海道會法中改正法律案竝北海道地方費法中改正法律案ヲ束ネテ議題トシ直ニ大體議ヲ了リ議院ハ兩案共ニ第二讀會ヲ開カサルコトヲ議決セリ三案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

三月二十六日三案ニ付孰モ第二讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院通知セリ

○議決ニ至ラサリシモノ

○一　東京市制案

明治四十年三月九日提出

明治四十年三月十四日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　清棲家教　　子爵　堤　功長　　男爵　松平正直

三浦　安　　男爵　千田貞暁　　馬屋原　彰

一木喜德郎　　菊池長四郎　　桑田熊藏

本委員ハ三月十六日伯爵清棲家教ヲ委員長ニ、子爵堤功長ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

○二　衆議院議員選擧法中改正法律案（第八條第三號中改正）

○三　衆議院議員選擧法中改正法律案（別表中横須賀市等追加其ノ他ノ件）

○四　衆議院議員選擧法中改正法律案（別表中沖繩縣ノ項改正）

明治四十年三月九日三案提出

明治四十年三月十四日三案ノ各第一讀會ヲ開キ三案ヲ束ネテ議題トシ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ三案ノ審査ヲ同一委員ニ付託スルコトヲ議決シ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　萬里小路通房　　子爵　毛利元忠　　淺田德則

男爵　沖　守固　　男爵　清水資治　　谷森眞男

磯邊包義　　下條正雄　　吉野周太郎

本委員ハ三月十六日伯爵萬里小路通房ヲ委員長ニ、谷森眞男ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ三案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

○五　渡良瀨川沿岸地方特別地價修正法律中改正法律案

明治四十年三月十二日提出

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　本莊宗義　　男爵　赤松則良　　男爵　辻　健介

男爵　諫早家榮　　渡　正元　　湯地定基

古莊嘉門　　谷　新助　　五十嵐敬止

本委員ハ三月十九日渡正元ヲ委員長ニ、男爵赤松則良ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月二十七日委員長ハ本案ヲ否決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

本案ハ第一讀會ノ續會ヲ開クニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十三號ニ在リ

○六　家祿賞典祿處分ニ關スル法律案

明治四十年三月十二日提出

明治四十年三月十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　渡邊　昇　　男爵　眞木長義　　男爵　松平正直

三浦　安　　男爵　船越　衛　　山脇　玄

男爵　千田貞曉　　波多野敬直　　馬屋原　彰

本委員ハ三月十九日子爵渡邊昇ヲ委員長ニ、男爵松平正直ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十三

號ニ在リ

○七　府縣制中改正法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ本案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　細川護成　　子爵　藤井行德　　子爵　戸田忠行

男爵　辻　健介　　千阪高雅

男爵　平野長祥　　古莊嘉門　　本間千代吉

關　清英

本委員ハ未タ委員長副委員長ヲ互選スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

○八　日本水產銀行法案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開ク政府委員大藏次官若槻禮次郎

政府ノ本案ニ同意スルヲ得サル理由ヲ辯明ス此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　鍋島直彬　　子爵　加納久宜　　子爵　山本實庸

村田　保　　服部一三　　男爵　青山　元

武井守正　　鎌田勝太郎　　日高榮三郎

本委員ハ三月二十三日子爵鍋島直彬ヲ委員長ニ、村田保ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ

○九　漁業法中改正法律案

明治四十年三月十六日提出

明治四十年三月二十一日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

子爵　松平乘承　　子爵　青山幸宜　　子爵　鍋島直柔

男爵　山内豊政　　富井政章　　柴田家門

磯邊包義　　谷　新助　　橋本雄造

本委員ハ三月二十六日子爵松平乘承ヲ委員長ニ、柴田家門ヲ副委員長ニ擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十五號ニ在リ

○十　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（名古屋地方裁判所管内區裁判所管轄變更ノ件）

○十一　裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案（陸奥國ヲ國舘控訴院ノ管轄ニ變更ノ件）

明治四十年三月二十一日兩案提出

明治四十年三月二十三日兩案ノ各第一讀會ヲ開ク此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ前案ノ委員ヲ左ノ如ク指名ス又後案ニ付テハ政府委員司法省參事官齋藤十一郎政府ノ本案ニ同意スルヲ得サル理由ヲ辯明シ次テ議院ハ貴族院規則第四十八條ニ依リ連繫事件トシテ後案ノ審査ヲ前案ノ特別委員ニ付託ス

侯爵　大炊御門幾麿　　子爵　酒井忠亮

兒島惟謙　　男爵　紀俊秀

馬屋原彰　　奥山政敬　　野崎啓造

本委員ハ未タ委員長副委員長ヲ互選スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ兩案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

○十二　會計法中改正法律案

明治四十年三月二十一日提出

明治四十年三月二十三日本案ノ第一讀會ヲ開ク大藏大臣阪谷芳郎政府ノ本案ニ同意スルヲ得サル理由ヲ辯明ス此ノ日議院ハ豫メ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ衆議院提出各案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選定ヲ議長ニ委任スルコトヲ議決シタルヲ以テ議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正　　伯爵　島津忠亮　　男爵　樺取素彦

子爵　柊平直平　　男爵　船越衛　　男爵　西五辻文仲

男爵　中島久万吉　　西村亮吉　　得能通昌

本委員ハ未タ委員長副委員長ヲ互選スルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ
載セテ速記錄第十六號ニ在リ

○十三　市場法案

明治四十年三月二十五日提出

明治四十年三月二十六日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議
院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ
左ノ九名ヲ指名ス

公爵　二條基弘　　伯爵　德川達孝　　子爵　谷　干城
子爵　三島彌太郎　　子爵　松平直敬　　男爵　有地品之允
男爵　青山　元　　木場貞長　　安廣伴一郎

本委員ハ三月二十七日公爵二條基弘ヲ委員長ニ、子爵三島彌太郎ヲ副委員長ニ
擧ク而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄
第十八號ニ在リ

○十四　明治三十四年法律第三十九號中改正法律案

明治四十年三月二十六日提出

明治四十年三月二十七日本案ノ第一讀會ヲ開キ直ニ特別委員ノ選擧ニ移リ議
院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ
左ノ九名ヲ指名ス

桑田熊藏　　宮崎喜久太郎
日高榮三郎　　下郷傳平
下村辰右衞門　　河田與惣左衞門
道源權治　　森　廣三郎
伊藤長次郎

本委員ハ三月二十七日桑田熊藏ヲ委員長ニ、河田與惣左衞門ヲ副委員長ニ擧ク
而シテ未タ審査ヲ了ルニ至ラスシテ閉會セラレタリ本案ハ載セテ速記錄第十
九號ニ在リ

○第二節　承諾ヲ求ムルノ件

承諾ヲ求ムルノ件ハ七件ニシテ總テ承諾スルコトヲ議決セリ今各件ニ付左ニ
其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　明治三十八年度豫備金支出ノ件

○二　明治三十八年度豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件
○三　明治三十八年度特別會計豫備金支出ノ件
○四　明治三十八年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過支出ノ件
○五　明治三十八年度清國事件第二豫備金支出ノ件
○六　明治三十八年度臨時事件豫備費支出ノ件
○七　明治三十八年度臨時事件豫備費外ニ於テ豫算外支出ノ件

明治四十年二月二十一日右七件ヲ束ネテ之カ承諾ヲ求ムル爲内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、農商務大臣松岡康毅、海軍大臣齋藤實、大藏大臣阪谷芳郎、逓信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、内務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董連署衆議院ニ提出シ同院ニ於テ右七件ヲ承諾スルコトヲ議決シ三月二十五日本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十六日明治三十八年度豫備金支出ノ件外六件ノ會議ヲ開ク政府委員大藏次官若槻禮次郎大藏大臣ニ代リ各件ニ付速ニ承諾ヲ求ムル旨ヲ述ヘ直ニ之カ特別委員ノ選擧ニ移リ議院ハ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　清棲家教　　男爵　北垣國道
　　松平容大
淺田徳則　　千坂高雅
　　藤田四郎
阿部浩　　柴田家門
　　得能通昌

本委員ハ三月二十六日伯爵清棲家教ヲ委員長ニ、淺田徳則ヲ副委員長ニ擧ケ引續キ會議ヲ開キテ各件ノ審査ヲ了リ同日委員長ハ各件ヲ承諾スヘキモノト議決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日各件會議ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵清棲家教委員會ニ於ケル各件審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ各件ヲ束ネテ議題トシ議院ハ異議ナク全部承諾スルコトヲ議決セリ

三月二十七日各件ヲ奏上シ又各件ヲ承認スルコトヲ議決セル旨ヲ衆議院ニ通知セリ

○第三節　豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要ス

ル件

豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ左ノ十二件ニシテ孰モ之ヲ可決セリ

一　明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號內務、大藏、海軍、農商各省所管)(百六十七頁)

一　明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第二號外務本省及在外公館電信料)(百六十七頁)

一　明治三十九年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號臺灣總督府、臺灣官設鐵道用品資金、國債整理基金)(百六十八頁)

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號南滿洲鐵道株式會社ニ對スル補給及保證)(百六十八頁)

一　明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案第三號(農商務省、遞信省所管)(百六十九頁)

一　明治四十年度歳入歳出總豫算案並明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案(百七十頁)

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算附屬)(百七十頁)

一　明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號外務、內務、司法、文部、遞信各省所管)(百七十三頁)

一　明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號關東都督府、樺太廳、千住製絨所、東京帝國大學、京都帝國大學、京都帝國大學及圖書館、韓國鐵道)(百七十三頁)

一　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號千住製絨所材料購買、東京帝國大學其ノ他各學校ニ於テ外國人教師傭入、傭機、增給)(百七十三頁)

一　明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第二號大藏、司法、文部、農商務、遞信各省所管)(百七十五頁)

一　明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號臺灣總督府、韓國森林)(百七十五頁)

右各案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第一號內務、大藏、海軍、農商務、遞信各省所管)

○二　明治三十九年度歳入歳出總豫算追加案(第二號外務本省及在外公館電信料)

○三　明治三十九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號臺灣總督府、臺灣官設鐵道用品資金、國債整理基金)

○四　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號南滿洲鐵道株式會社ニ對スル補給及保證)

明治四十年一月三十一日明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案(第一號)、同(第二號)、明治三十九年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號)ハ孰モ內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第一號)ハ內閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ各案ヲ可決シ二月七日各〻之ヲ本院ニ送付セリ

明治四十年二月九日各案ノ審査期限ヲ定ムルノ會議ヲ開ク議院ハ各案ノ審査期限ヲ二月十八日ト定メ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ各案ヲ各分科ニ付シ二月十四日各分科會ノ審査ヲ終リ二月十六日豫算委員總會ヲ開キ各案ヲ可決シ同日豫算委員長ハ各案總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

二月十八日各案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正委員會ニ於ケル各案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ議長ハ各案ヲ順次表決ニ付シ議院ハ孰モ之ヲ可決セリ

二月十八日各案ノ裁可ヲ奏請シ又各案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

本文各豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ孰モ四十年二月二十二日ヲ以テ公布セラレタリ

○五　明治三十九年度歲入歲出總豫算追加案(第三號農商務省、遞信省所管)

明治四十年二月二十六日內閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎連署衆議院ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ本案ヲ可決シ三月九日之ヲ本院ニ送付セリ

明治四十年三月十一日審査期限ヲ定ムルノ會議ヲ開ク議院ハ本案ノ審査期限ヲ同月十三日ト定メ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ三月十一日總會ヲ開キテ本案ノ審査ヲ了リ同日豫算委員長ハ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月十四日本案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ議院ハ本案ヲ可決セリ

三月十四日本案ノ裁可ヲ奏請シ又本案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

本文追加豫算ハ四十年三月二十日ヲ以テ公布セラレタリ

○六　明治四十年度歳入歳出總豫算案竝明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案

○七　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算附屬)

明治四十年一月二十二日明治四十年度歳入歳出總豫算案竝明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、農商務大臣松岡康毅、海軍大臣齋藤實、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、内務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董連署衆議院ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ明治四十年度歳入歳出總豫算案竝明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案中明治四十年度歳入歳出總豫算案ハ政府ノ修正案ヲ可決シ竝原案ヲ添ヘ明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算案、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ之ヲ可決シ三月七日各〻之ヲ本院ニ送付セリ

明治四十年二月十四日兩案ノ審査期限ヲ定ムルノ會議ヲ開ク議院ハ兩案ノ審査期限ヲ三月五日ト定メ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ兩案ヲ各分科會ノ審査ヲ終リ三月四日豫算委員總會ヲ開キテ總豫算案中歳出臨時部内務省所管ニ修正ヲ加ヘ其ノ他ヲ可

決シ同日豫算委員長ハ(鐵道敷設法中改正法律案ニ關係ヲ有スル部分ヲ除キ修正報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月六日兩案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正曩ニ豫算委員會報告書中ニ其ノ報告ヲ除キタル鐵道敷設法中改正法律案ニ關係ヲ有スル部分ハ既ニ該法律案ノ本議場ヲ通過シタル以上ハ茲ニ併セテ報告スル旨ヲ述ヘ兩案ノ委員會ニ於ケル經過及結果ヲ議院ニ報告シ大藏大臣阪谷芳郎明治四十年度豫算案ニ關シ豫算委員長ヨリ滿足ナル報告アリタルハ國家ノ爲慶賀ノ至ニ堪ヘサレトモ北海道ニ對スル財政計畫ニ就テ一部分政府ト意見ノ一致ヲ闕キシハ遺憾ナリトテ此ノ點ニ就キ豫算編製ノ趣旨ヲ辯明シタル後議院ハ伯爵柳澤保惠ノ秘密會議ヲ開クノ動議ヲ可決シ暫時秘密會議ニ移リ次テ又會議ヲ公開シ北海道ニ對スル財政計畫ニ關シ男爵園田安賢、村田保ノ原案贊成ノ演說及內務大臣原敬ノ辯明アリ之ニ對シ子爵谷干城、小松原英太郎ノ反對演說アリ表決ノ結果全部委員會ノ修正ヲ可決シ其ノ他ハ總テ原案ヲ可決シ續テ豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算附屬)ヲ可決セリ

三月七日明治四十年度歲入歲出總豫算案ハ之ヲ衆議院ニ回付シ同九日同院ヨリ本院ノ修正ニ同意シテ本案ヲ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領シ明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算案及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(總豫算附屬)ハ孰モ同七日之カ裁可ヲ奏請シ又兩案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

明治四十年度歲入歲出總豫算並明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ孰モ四十年三月十八日ヲ以テ公布セラレタリ

○八　明治四十年度歲入歲出總豫算追加案(第一號外務、內務、司法、文部、遞信各省所管)

○九　明治四十年度各特別會計歲入歲出豫算追加案(特第一號關東都督府、樺太廳、國大學、京都帝國大學、學校及圖書館、韓國鐵道、東京帝國大學其ノ他各學校ニ於テ外國人教師傭入傭機、增給)

○十　豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號千住製絨所材料購買費)

明治四十年二月八日明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、内務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董連署、明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、内務大臣原敬、文部大臣牧野伸顯、外務大臣子爵林董連署、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、陸軍大臣寺内正毅、大藏大臣阪谷芳郎、文部大臣牧野伸顯連署衆議院ニ提出セリ

明治四十年二月二十三日各〻之ヲ本院ニ送付セリ

審査期限ヲ三月十一日ト定メ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ各案ヲ各分科ニ付シ三月七日各分科會ノ審査ヲ終リ同月十一日豫算委員長ハ各案總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決シタル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月十四日各案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正委員會ニ於ケル各案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ各案ヲ併セテ表決ニ付シ議院ハ之ヲ可決セリ

三月十四日各案ノ裁可ヲ奏請シ又各案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

本文各追加豫算及豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件ハ孰モ四十年三月二十日ヲ以テ公布セラレタリ

○十一　明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第二號　大藏、司法、文部、農商務、遞信各省所管)

○十二　明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號　臺灣總督府、韓國森林　)

明治四十年三月十八日明治四十年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)ハ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、農商務大臣松岡康毅、大藏大臣阪谷芳郎、遞信大臣山縣伊三郎、司法大臣松田正久、文部大臣牧野伸顯連署、明治四十年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)ハ内閣總理

大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎、内務大臣原敬連署衆議院ニ提出セリ

衆議院ニ於テハ各案ヲ可決シ三月二十一日各〻之ヲ本院ニ送付セリ

明治四十年三月二十三日各案ノ審査期限ヲ同月二十五日ト定メ之ヲ豫算委員ニ付託ス

豫算委員ハ三月二十五日總會ヲ開キテ本案ノ審査ヲ了リ同日豫算委員長ハ各案總テ衆議院議決案ノ通可決スヘキモノト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

三月二十六日各案ノ會議ヲ開ク豫算委員長伯爵正親町實正委員會ニ於ケル各案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ次テ議長ハ各案ヲ併セテ表決ニ付シ議院ハ之ヲ可決セリ

三月二十六日各案ノ裁可ヲ奏請シ又各案可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

附記

本文各追加豫算ハ孰モ四十年三月二十九日ヲ以テ公布セラレタリ

第四節　決算

決算ハ左ノ一件ニシテ審査ノ上決算委員長ノ報告ト共ニ決議案(四件)ヲ可決セリ

○一　明治三十七年度歳入歳出總決算
　　明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算

明治四十年二月二十一日明治三十七年度歳入歳出決算檢査報告ト共ニ内閣總理大臣侯爵西園寺公望、大藏大臣阪谷芳郎連署提出ス

決算委員ハ本決算ヲ各分科ニ付シテ之カ審査ヲ了リ明治四十年三月二十三日決算委員總會ヲ開キテ決議案(四件)ヲ議決シ同日決算委員長ハ明治三十七年度歳入歳出總決算中(一)内務省所管歳出臨時部第十五款災害費第三項栃木縣水害土木費補助(二)大藏省所管歳出臨時部第二十款貸付金第一項貸付金(二)文部省所管歳出臨時部第十九款臨時編書費第一項臨時編書費、明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中内務省所管臺灣總督府歳出臨時部第十四款基隆築港維持費第一項事務費、第二項工作及建物費ニ付テハ決議案ヲ提出シ其ノ他煙草專賣法

ニ反シ内國産葉煙草ヲ買上ケ國庫債券ヲ發行シタル件ハ法律ニ違背セル不當ノ處置ナリト雖モ當時ノ事情已ムヲ得サルモノアルヲ以テ決議案ヲ提出スルノ必要ナシト認ムト議決シ明治三十七年度各特別會計歳入歳出決算中文部省所管歳出臨時部第四款福岡醫科大學第一項俸給及諸給ハ當初ノ詮議ニ於テ愼重ノ調査ヲ缺キタル結果ニシテ將來ノ注意ヲ促スノ必要アリト認ムト議決セル旨ノ報告書ヲ議長ニ提出セリ

明治四十年三月二十六日決算ニ關スル報告竝決議案(四件)ノ會議ヲ開ク決算委員長伯爵柳原義光委員會ニ於ケル決算審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告ス議長ハ決議案四件ヲ順次議題ニ供シ終リニ決算委員長ノ報告ヲ議院ニ諮ヒ議院ハ總テ之ヲ可決セリ各決議案ハ載セテ速記錄第十八號ニ在リ

○第五節　建議案

建議案ハ四件ニシテ總テ之ヲ可決セリ

一　衛生參考館擴張ノ建議案(百七十九頁)

一　商業教育ニ關スル建議案(百七十九頁)

一　國語及字音假名遣ニ關スル建議案(百八十頁)

一　函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案(百八十一頁)

右各議案ニ付左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　衛生參考館擴張ノ建議案

明治四十年三月十九日三宅秀發議、伯爵正親町實正外七十六名贊成

明治四十年三月二十三日本案ノ會議ヲ開ク三宅秀本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ議院ハ直ニ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十六號ニ在リ

本建議書ハ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

○二　商業教育ニ關スル建議案

明治四十年三月二十三日伯爵柳澤保惠外五名發議、侯爵細川護成外百十七名贊成

明治四十年三月二十六日本案ノ會議ヲ開ク辻新次本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ議院ハ直ニ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十八號ニ在リ

本建議書ハ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

○三　國語及字音假名遣ニ關スル建議案

明治四十年三月二十四日伯爵德川達孝外六名發議、子爵堤功長外四十一名贊成

明治四十年三月二十六日本案ノ會議ヲ開ク伊澤修二本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ政府委員文部次官澤柳政太郎本案ニ關シ意見ヲ述ヘ且本案ヲ特別委員ノ審議ニ付セラレタシトノ希望ヲ述ヘ伊澤修二之ニ反對シ子爵曾我祐準本案ノ審査ヲ特別委員ニ付託スルノ動議ヲ提出シ議院ハ之ヲ可決シ次テ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

伯爵　正親町實正　　子爵　鍋島直彬　　子爵　平松時厚
子爵　松平乘承　　男爵　松平正直　　男爵　石黒忠悳
男爵　千秋季隆　　伊澤修二　　澤原俊雄

本委員ハ三月二十七日伯爵正親町實正ヲ委員長ニ、子爵鍋島直彬ヲ副委員長ニ擧ケ即日會議ヲ開キテ審査ヲ了リ同日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十七日議事日程ヲ變更シテ本案會議ノ續會ヲ開ク特別委員長伯爵正親町實正委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ山川健次郎本案反對ノ意見ヲ述ヘ岡田良平本案提出者ソ一人トシテ本案ノ旨趣ヲ辯明シ關義臣ハ山川健次郎ノ意見ヲ駁シテ本案贊成ノ意見ヲ述ヘ此ニ討論ヲ了リ次テ議院ハ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十八號ニ在リ

本建議書ハ三月二十七日之ヲ政府ニ呈出セリ

○四　函館小樽兩港修築速成ニ關スル建議案

明治四十年三月二十六日公爵二條基弘、男爵小澤武雄發議、侯爵德川頼倫外五十八名贊成

明治四十年三月二十七日本案ノ會議ヲ開ク男爵小澤武雄本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ議院ハ直ニ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十九號ニ在リ

本建議書ハ即日之ヲ政府ニ呈出セリ

○第六節　動議案

動議案ハ一件ニシテ之ヲ可決セリ左ニ其ノ議事ノ經過及結果ヲ略述ス

○一　貴族院規則第二十八條中改正ノ動議案

明治四十年三月十一日子爵曾我祐準外四名發議、公爵二條基弘外九十一名賛成

明治四十年三月十四日本案ノ會議ヲ開ク子爵曾我祐準本案提出ノ旨趣ヲ辯明シ且本案ノ審査ヲ特別委員ニ付託スルノ動議ヲ提出シ議院ハ之ヲ可決シ貴族院規則第四十七條第二項ニ依リ委員ノ選定ヲ議長ニ委任ス議長乃チ左ノ九名ヲ指名ス

侯爵　徳川頼倫　　子爵　曾我祐準　　子爵　入江爲守

子爵　水野直　　男爵　石黒忠悳　　男爵　川口武定

南郷茂光　　穂積八束　　木村誓太郎

本委員ハ三月十六日男爵石黒忠悳ヲ委員長ニ、男爵川口武定ヲ副委員長ニ擧ケ會議ヲ開クコト一回ニシテ審査ヲ了リ三月十九日委員長ハ本案ヲ可決セル旨ヲ議長ニ報告セリ

三月二十一日本案會議ノ續會ヲ開ク委員長男爵石黒忠悳委員會ニ於ケル本案審査ノ經過及結果ヲ議院ニ報告シ議院ハ直ニ本案ヲ可決セリ本案ハ載セテ速記錄第十二號ニ在リ

○第七節　質問

質問ハ左ノ一件ニシテ政府ヨリ之カ答辯書ヲ受領セリ

○一　國語及字音假名遣ニ關スル質問

明治四十年三月二日伊澤修二提出、侯爵久我通久外四十六名賛成

本質問主意書ハ左ノ如シ

一　文部省ハ明治三十三年八月文部省令第十四號小學校令施行規則第二號表ヲ以テ詔勅、帝國憲法、議院法其ノ他法律命令等ヲ始メトシ帝國議會議事速記錄等ニ用ヰ來レル假名遣ト相違セルノミナラス現今一般ノ國語學者間竝文學社會ニモ認メラレサル所謂棒引假名遣ヲ新定シ且漫ニ假名中ノ「ヰ」「ヱ」「ヲ」ノ三字ヲ削去シ「ヂ」ト「ヅ」ト「ズ」ノ別ヲ廢シ之ヲ小學校ノ教科ニ加ヘテ全國ノ就學兒童ニ強課シタリ文部大臣ハ其ノ職權ヲ以テ國

語字音ヲ輕々ニ改廢シ得ルモノト思惟スルカ

一　文部大臣ハ明治三十九年十二月第十回高等教育會議ニ諮問シ曩ニ制定シタル棒引假名ヲ廢シ之ニ代フルニ「ア」「イ」「ウ」ノ三字ヲ以テシ尚「カ」ト「クヮ」ノ別ヲ廢シ「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」ヲ「ワ」「イ」「ウ」「エ」「オ」ニ改メタル一種ノ改定案ヲ提出シ既ニ其ノ議決ヲ經テ明治四十一年四月ヨリ之ヲ小學校ニ實施シ尚進テ中等教育ノ學校ニモ之ヲ課セムトスト聞ク果シテ然ラハ曩ニ棒引假名ヲ一千餘萬ノ生徒ニ強課セシハ徒ニ誤謬ヲ傳ヘタルニ止マリ國家教育ノ本旨ヲ過チタルモノニ非サルカ

一　前項高等教育會議ノ諮問ヲ經タル假名遣モ亦往年ノ棒引假名遣ト同シク從來慣用セラルル假名遣ト一致セサルハ勿論一般ノ國語學者間及文學社會ニモ容認セラレサルモノナレトモ文部大臣ハ獨斷ヲ以テ之カ實行ノ責ニ任セムトスルカ

右議院法第四十八條ニ依リ及質問候也

明治四十年三月二日　本質問主意書ヲ政府ヘ轉送セリ而シテ同月十一日會議ノ

初ニ於テ伊澤修二ハ本質問ノ理由ニ付說明ヲ爲セリ

三月二十三日政府ヨリ左ノ答辯書ヲ受領セリ

一　文部省ハ明治三十三年文部省令第十四號小學校令施行規則第二號表ヲ以テ字音假名遣ヲ簡略ニセリ是レ小學校殊ニ其初級ニ於テハ假名又ハ假名及僅少ノ漢字ヲ以テ單語又ハ簡易ナル文章ヲ綴リ教授セサルヘカラサルニ字音假名遣ヲ嚴正ニ教授スルハ教育上最大難事トスル所ニシテ兒童ノ腦力ヲ疲勞セシメ之カ爲ニ他ノ緊切ナル事項ヲ授クルニ必要ナル時間ヲ減少スルノ憂アリ例ヘハかう(校)かふ(甲)こう(公)こふ(劫)くわう(光)ノ別、しやう(將)しよう(松)せう(小)せふ(捷)ノ別ノ如キ之ヲ兒童ニ教フルコトヲ止メ單ニ之ヲこー又ハしよートシテ授クルコトトナシ又ゐ(胃)い(醫)ノ別ノ如キ、ゐんそく(遠足)えんき(延期)等ノ場合ニ於ケルゐ、えノ別ノ如キ之カ區別ヲナサスシテいん(恩愛)をんせん(温泉)等ノ場合ニ於ケルお、をノ別ノ如キモ之ヲ止メテおニ一定セリ而シテくわん(觀)かん(感)等ノ場合ニ於ケルくわ、かノ別、ぢ(持)じ(寺)ノ別、づざん(杜撰)ず

ぶん(隨分)等ノ場合ニ於ケルづずノ別ノ如キハ之ヲか又ハじずニ一定スルヲ本體トセリト雖モ尚從來慣用ノ例ニ依ルモ妨ナキコトトセリ字音假名遣ニ關シテハ此ノ如ク一定シタリト雖モ國語假名遣ニ關シテハ其影響スル所重大ナルヲ以テ仍從來ノ儘ニシ以テ他日ノ調査ニ待ツ所アリキ

抑モ字音假名遣ノ如キハ普通ノ文章ニ於テハ多ク漢字ニ隱ルルモノナレハ法律命令等ノ如ク多數ノ漢字ヲ使用スルモノハ字音假名遣ノ新定ニ依リ影響ヲ受クルコト甚タ稀ナリ而シテ辭書ノ如ク必ス假名ヲ使用セサルヘカラサルモノハ近時此新定ノ假名遣ニ據レルモノモ少カラスシテ其利便ハ漸次社會ニ認容セラレツツアルカ如シ要スルニ明治三十三年文部省ノ定メタル字音假名遣ハ現代多數ノ國民ノ發音ニ準據スルヲ目的トシタルモノニシテ現代ノ發音ヨリ消滅セルゐゑをハ字音ニ關シテハ自然不用ニ歸シタルナリ敢テ漫ニ刪去シタルニアラス國語又ハ字音ノ輕々ニ改廢シ得ルモノニアラサルコトハ固ヨリ本大臣ノ認ムル所ナリ

一　字音假名遣ヲ簡略ニシタル以來國語假名遣ノミ舊來ノ假名遣ニ依リ字音ト國語トノ假名遣ヲ二樣ニ授クルハ敎育上不便ナルヲ以テ國語假名遣ニ關シテモ簡易ナル原則ニ依リ適當ノ改正ヲ加ヘラレタシトハ敎育社會一般ノ希望ナリト認メタリ且國定敎科書ノ修正ニ著手セルニ際シ文部省ニ設置セル敎科書調査委員會ニ於テ國語假名遣ト字音假名遣トヲ統一スヘキ改正ノ必要ヲ認メ案ヲ具シテ報告シタルヲ以テ明治三十八年二月之ヲ國語調査委員會ニ諮問シ竝ニ明治三十八年三月開會ノ第九回高等敎育會議ニ諮問シタリ然ルニ高等敎育會議ニ於テハ本件ハ重要ノ問題ナルヲ以テ十分講究ノ必要アリ依テ他日ヲ俟チテ更ニ諮問アランコトヲ望ム旨ヲ議決セリ而シテ國語調査委員會ニ於テハ假名遣ノ歷史、全國各地方ノ音韻等種々ノ點ヨリ愼重ノ調査ヲ遂ケ明治三十八年十一月ニ至リ詳細ニ答申スル所アリキ依テ該答申ノ儘ヲ昨明治三十九年十二月開會ノ第十回高等敎育會議ニ諮問シタルニ之ヲ可決セリ該答

申ニ依レハ「ー」ノ符號ハ之ヲ廢シタルニアラス國語及字音ノ長音ニハヘ
いたい(兵隊)こうこう(孝行)等ノ如クあいうヲ用ヰルヲ正則トシ「ー」ヲ代用
スルコトヲ許容シ外國語ニハ「フロックコート」ノ語ノ如ク「ー」ヲ用ヰルヲ
正則トシあいうヲ代用スルコトヲ許容シタリ尚ホかくわトハ其別ヲ
止メテかニ一定シ又國語假名遣ニ於テはひふへほト書キテわいうえお
ト發言スルモノ例ヘハかは(川)うぐひす(鶯)あやふい(危)いへ(家)かほ(顔)等ノ
はひふへほノ如キモ之ヲ發音ノ儘ニ表記スルヲ目的トセリ而シテ國語
假名遣ノ改正ハ談話體ノ文章ニノミ行フモノニシテ和歌又ハ普通文ニ
アリテハ一切之ヲ適用セサルナリ又長音ノ表記法ニ至リテハ國語及字
音ニ關シ「ー」ヲ用ヰルヲ正則トセサルコトトナルト雖モ之ヲ代用スルヲ
許容スルモノナレハ假令國語調査委員會答申ノ旨趣ヲ實行スルトモ
「ー」ヲ教ヘタルコトヲ目シテ誤謬ヲ傳ヘタルモノト看做スヲ得サルヘ
シ

一　前項高等教育會議ノ諮問ヲ經タル假名遣ハ教科書調査委員會ノ報告及
國語調査委員會ノ答申ニ基キタルモノナリ本大臣ハ是等會議ノ意見ヲ
審案シ其適當ト認ムルモノハ之ヲ採用シ之カ實行ノ責ニ任スヘシ

右及答辯候也

明治四十年三月二十三日

文部大臣　牧野伸顯

○第八節　請願

本回ニ於テ本院ノ受領シタル請願ノ總數ハ二百六十六件ニシテ其ノ内請願委
員ニ於テ議院ノ會議ニ付スヘシト議決セシモノ百一件、議院ノ會議ニ付スルヲ
要セスト議決セシモノ百十九件、審査ヲ結了スルニ至ラサリシモノ四十五件、却
下セシモノ一件トス

又請願委員ニ於テ議院ノ會議ニ付スヘシト議決セシ請願百一件ノ内議院ニ於
テ採擇スルコトヲ議決セシモノ九十九件、採擇セサルコトヲ議決セシモノ二件
トス

又本院ノ受領シタル請願ヲ各府縣ニ區別スルトキハ請願ノ呈出最モ多キハ群